

現場が変わる、仕事が変わる。ふくの国の建設DXの挑戦の軌跡

2026年3月

山口県土木建築部



はじめに

山口県では、地域インフラを将来にわたって守り続けるため、デジタル技術を積極的に活用した建設DXの取組を進めてきました。

人手不足が進む中でも、安全で質が高く、持続可能な建設産業を構築するため、現場の実情に即した工夫を重ねてきたところであり、その取組は着実に成果として現れつつあります。

本資料は、2026年3月まで山口県の建設DXの挑戦と、その軌跡をまとめたものです。

(参考)山口県の建設DX推進の歴史

①建設維新ICT

②情報共有システム

③遠隔臨場

④UAVの利活用

⑤3次元点群データの利活用

⑥オンライン電子納品

⑦BIM/CIM

⑧書類のスリム化

⑨センシングデバイスを用いたインフラメンテナンス

⑩AIを用いたインフラメンテナンス

⑪タブレットやアプリを用いたインフラメンテナンス

⑫維持管理支援システムを用いた群マネの推進

⑬オープンデータ

⑭いんふらまるごとマネジメント

⑮建設発生土マッチングシステム

⑯道路見えるナビ

⑰働き方改革

⑱SNSを使った戦略的広報

⑲建設キャリアアップシステム

⑳フラNavi

(参考)やまぐち建設FES!

山口県の建設DX推進の歴史(～2026.3)



建設DX推進班の立ち上げ前のワーキング

- 令和2年度に技術管理課主導のもと、各所属のDX活用リーダーを招集し、意見交換会を実施。
- この意見交換会をきっかけに、職員同士で「土木建築部がDX推進に向けて取り組む目標」について議論し、部全体で取り組むためのDX推進体制について提案したところ、令和4年度に「建設DX推進班」が発足。

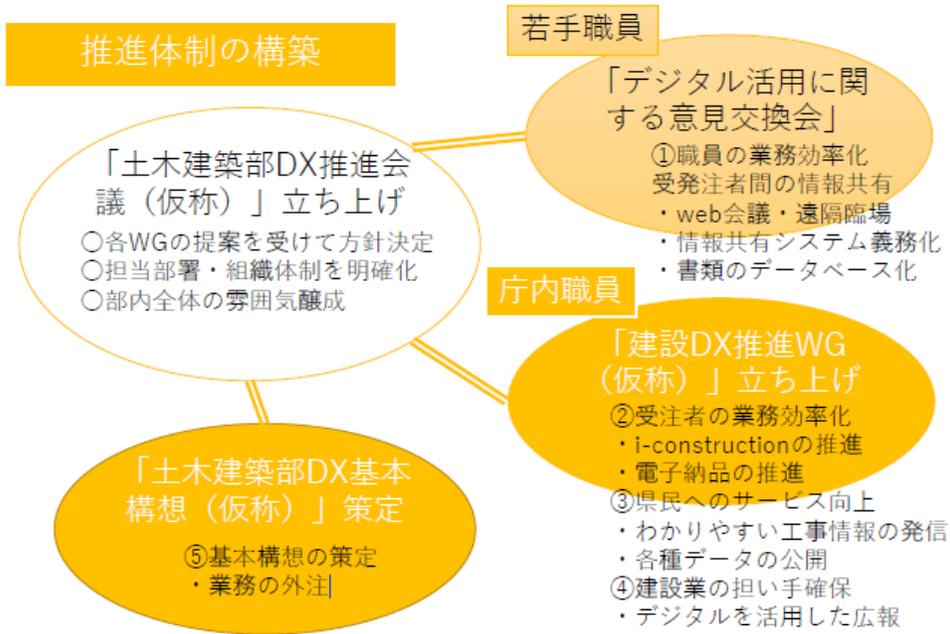
デジタル活用に関する意見交換会への提案

- 業務のデジタル化の推進、建設DXの推進に向けて、土木建築部内全体で取り組む推進体制の構築が必要。
- 職員の業務効率化、受発注者間の情報共有、受注者の業務効率化、県民への情報発信などに取り組むことが必要。
- この取組みのゴール（基本構想や基本方針）を掲げ、目標達成に向けて、若手職員の積極性を後押ししながら、スピーディーに「できることからやってみる。」を実践する。

意見交換会の様子(本課+出先のDX活用リーダー)



推進体制の構築



取組みの流れ

項目	年度	R3	R4	R5	R6
①職員の業務効率化	試行	○代表事務所	○8土建事務所	○全事務所	本格運用開始
	内容	・web会議(コト打合せ) ・遠隔臨場 ・情報共有システム義務化			
②受注者の業務効率化	試行	○予定価格○円以上工事		○対象工事拡大	本格運用開始
	内容	・i-constructionの推進 ・電子納品の推進			
③県民へのサービス向上	試行	○庁内関係課/選択工事			本格運用開始
	内容	・公開可能データの抽出と公開 ・わかりやすい工事情報の発信			
④建設業の担い手確保	試行	○監理課			本格運用開始
	内容	・デジタルを活用した広報			
⑤基本構想の策定	試行	○構想(案)策定			
	内容	・構想策定(公表)			

令和2年度に提案された内容が次々に実現！

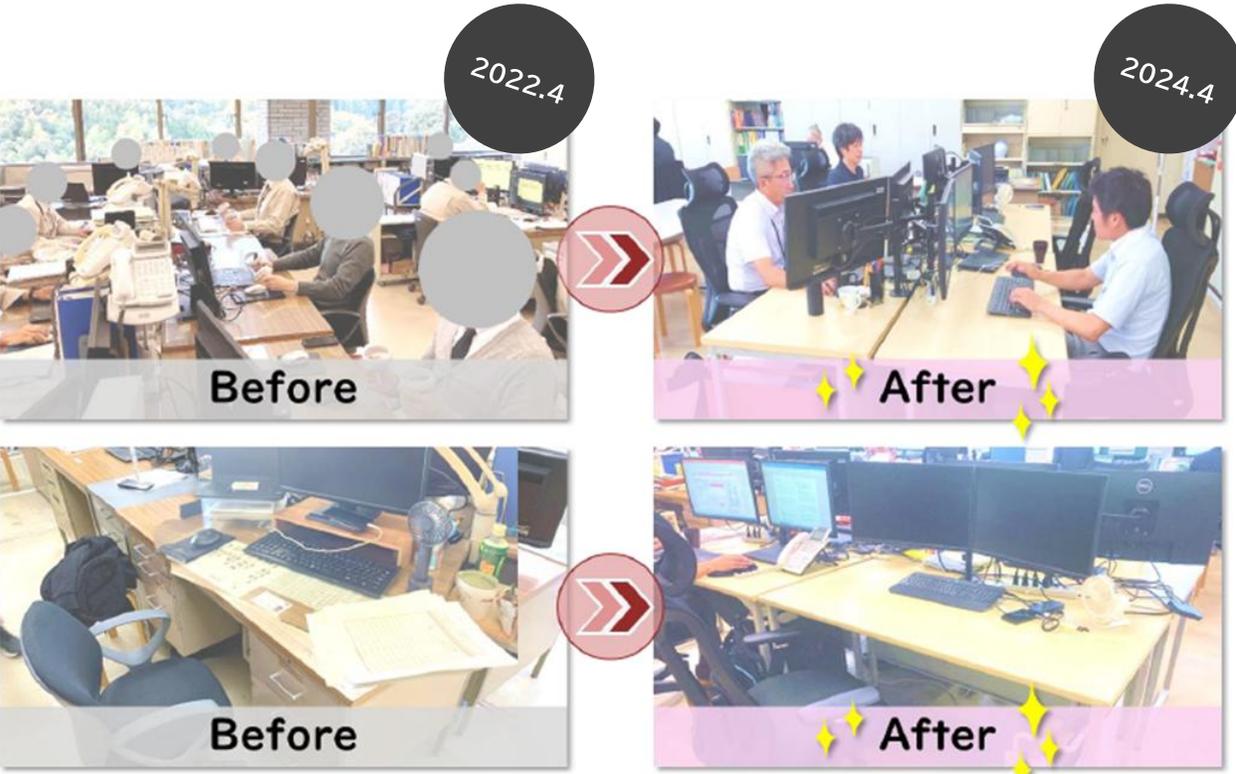
建設DX推進班と建設DX推進連絡協議会

○建設DX推進班

建設分野における情報通信技術の活用の促進に係る施策の総合企画及び調整を行うため土木建築部技術管理課の中に組織されたグループ

○山口県建設DX推進連絡協議会

山口県内における建設産業の生産性向上や効果的・効率的なインフラマネジメントを実現するため、公共事業関係者間の連携強化を目的として設置された協議会



発足当時の3つの理念

- 未来を創造する
- 既成概念にとらわれない
- 失敗を恐れない



役職	所属	所属内での役職
会長	山口大学大学院創成科学研究科	教授
副会長	山口県土木建築部	土木建築部審議監
会員	(一社)山口県建設業協会	事務局次長
会員	(一社)山口県測量設計業協会	技術委員副委員長
会員	(一社)山口県建築協会	専務理事
会員	(一社)山口県電業協会	事務局長
会員	山口県管工事工業協同組合	事務局長
会員	(一社)山口県建築士事務所協会	専務理事
会員	山口大学大学院創成科学研究科	准教授
会員	徳山工業高等専門学校土木建築工学科	助教
会員	(一財)山口県建設技術センター	理事長
会員	(一社)やまぐちGISひろば	理事

① 建設維新ICTの軌跡

測量	設計	施工	納品
<p>小規模現場のワンマン測量</p> 	<p>3次元モデルから施工数量を自動算出 4次元モデルも活用推進</p> 	<p>丁張作業を省略</p> 	<p>オンライン検査・電子納品</p> 
		管理	
		<p>ICT機器を活用した出来形管理</p> 	

生産性の向上！安全性の向上！魅力の向上！

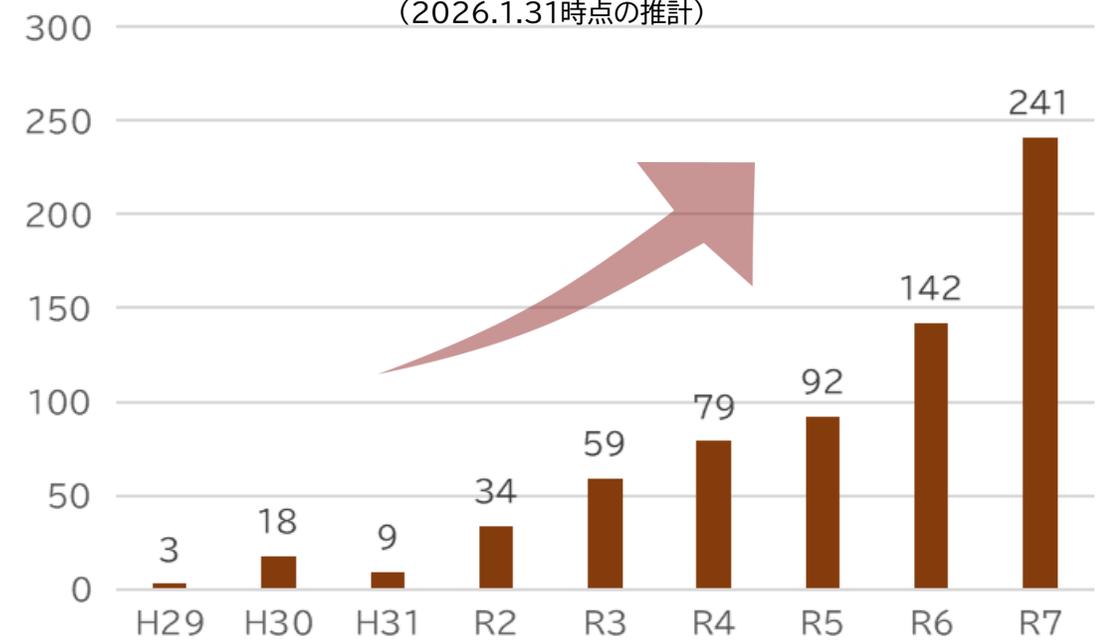


① 建設維新ICTの実績

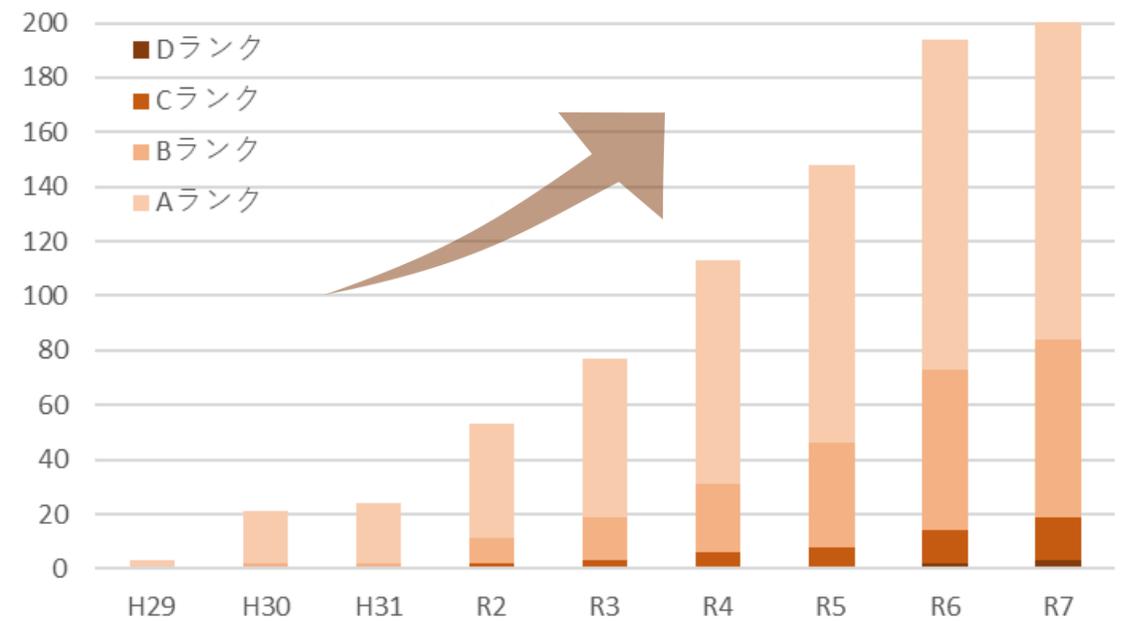
- 平成29年度から取組を開始して以降、ICT活用工事の実施件数は着実に増加している。
- 特に、令和6年10月から導入した「発注者指定型」の取組に加え、小規模な現場でもICT活用工事が実施可能であることを積極的に周知したことにより、近年は実施件数が大幅に増加している。
- 今後も、「どのような建設会社でもICTの恩恵を受けられる」ことを目標に、B～Dランクの建設会社を中心とした支援を継続していく。

ICT活用工事実施数(年度別)

(2026.1.31時点の推計)



ICT活用工事新規参入業者数(計221社)



① 各種イベント

- 山口県におけるICT活用工事の普及・定着を目的として多くのイベントを実施。
- とにかく現場を大事にするという考えのもと、県内の実際の建設現場や取組事例を通じて、ICT活用工事を特別なものではなく、日常の現場業務の延長として捉える視点を共有。
- 規模や工種を問わず、自社の現場での活用を具体的にイメージでき、次の現場での実践につながる内容としている。

	イベント数	参加人数	内、建設会社	内、県行政エンジニア	内、市町行政エンジニア
2022年度(建設維新ICT1.0)	14回	250名	183名	51名	10名
2023年度(建設維新ICT2.0)	32回	789名	399名	177名	106名
2024年度(建設維新ICT2.0)	44回	2,048名	613名	448名	190名
2025年度(建設維新ICT3.0)	50回	2,101名	782名	551名	318名
合計	140回	5,188名	1,977名	1,227名	624名

※山口県内で実施されたICT活用工事や3次元点群データに係わるイベント ※のべ人数 ※2025年度は2026.3末現在



① 建設維新ICTセミナーのアップデート

○2020年から、県内の建設会社を対象にICT活用に関するセミナーを開始、2023年からは、「小規模土工のICT活用要領」の運用開始にあわせて、対象を小規模現場に絞った内容へとセミナーをアップデート。
 ○2025年からは、初期投資が難しい中小建設会社でも対応可能な、より小規模な現場を対象とした支援へと進化。

2020～:建設維新ICTセミナー1.0 (中規模現場を対象)

主催：山口県

山口県 建設維新ICTセミナー

実務者向け講習会（応用編）

ICT活用工事の経験はあるが、「内製化を目指したい」あるいは「ICT技術や3次元データをさらに活用する方法を知りたい」といった実務者向けに、3次元データ作成・照査に関する実習や、3次元データの応用例の紹介・体験を行います。

日時 令和2年10月29日（木） 9：30～16：50

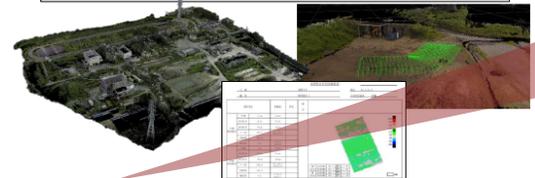
場所 山口県セミナーパーク 一般研修室 101
(山口市秋穂二島1062)

定員 25名

その他 このセミナーは、CPDSユニット申請中です。

セミナーの内容

- 山口県の建設ICT普及推進の取組みについて
- ICT活用工事における3次元データの活用方法について
- 3次元データの作成実習
- 3次元データを用いた設計照査実習
- 3次元データの応用例の紹介と体験



2023～:建設維新ICTセミナー2.0 (小規模現場を対象)

第1回 実務者向け講習会(基礎編)

令和5年度 主催：山口県

小規模現場向け

建設維新ICTセミナー

ICT技術に対し興味はあるが触れる機会がない施工者を対象に、小規模工事で活用できるICT技術の紹介や、普段の工事で実施することが多い位置出し作業等を、3次元データとトータルステーション(TS)を用いて演習を行います。

日時 令和5年7月18日(火) 13:15～16:40 (受付13:00)

場所 山口県柳井総合庁舎 2階 大会議室
(柳井市南町3丁目9-3)

定員 25名 (先着順)

対象者 ・ICT活用工事未経験の方
・建設維新ICTセミナーを受講されたことがない方

申込み 右に示すQRコードを読み取り、申込みフォームから申し込んでください。
※申込受付期間：令和5年7月4日(火)17時まで

その他 本セミナーは継続学習制度(CPDS)の認定を受けています。(3ユニット)
※マイナンバーカードやCPDS技術者証など本人確認ができるものを持参してください。

お申込みはこちら

セミナーの内容

- 山口県の建設DXについて
- 小規模工事におけるICT活用のポイント
- 簡易な3次元設計データ作成実習
- 3次元データを活用した計測実習と出来形帳票作成実習



2025～:建設維新ICTセミナー3.0 (もっと小規模現場を対象)

建設維新ICTセミナー3.0
カセタイシユ編
(河川堆積土砂撤去工事で習得しよう！)

令和6年10月からICT活用工事の発注者指定型の対象となった河川堆積土砂撤去工事において、実現場を使ってICTを体験するセミナーです。
小規模工事で活用できるICTの紹介や、普段の工事で実施することが多い位置出し作業等を、3次元データとトータルステーション(TS)を用いて演習を行います。今回の講習会では3次元点群データやICT建機は使用しません。

日時 令和7年6月25日(水) 10:00～16:00 (受付9:45)

場所 座学：下松市役所5階503号会議室
体験：準用河川生野屋川 (下松市生野屋西1丁目)

定員 20名 (先着順)

対象者 小規模の河川堆積土砂撤去工事でICT技術を活用し現場の生産性を上げたい建設会社の方

申込み 右に示すQRコードを読み取り、申込みフォームから申し込んでください。
※申込受付期間：令和7年6月24日(火)17時まで

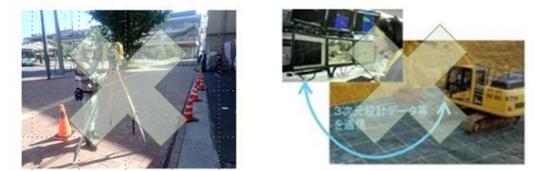
その他 本セミナーは継続学習制度(CPDS)の認定を受けています。(4ユニット)
※マイナンバーカードなど本人確認ができるものを持参してください。

お申込みはこちら

セミナーの内容

- 小規模工事におけるICT活用のポイント
- 簡易な3次元設計データ作成実習
- 3次元データを活用した計測実習と出来形帳票作成実習

※今回の講習会ではドローンやレーザーキャナによる点群やICT建機は使用しません！



① 建設維新ICTセミナー3.0

○初期投資が難しい県内の中小建設会社でも取り組めるよう、小規模な現場を対象に、実際の建設現場に即したICT活用をテーマとして実施。
 ○工種別に内容を絞り込み、現場の実業務とどう結びつくのかを具体的に理解できる最低限のポイントを分かりやすく整理。

建設維新ICTセミナー3.0(カセタイシュウ編)

第3回

令和7年度

主催：山口県

建設維新ICTセミナー3.0

カセタイシュウ編

(河川堆積土砂撤去工事で習得しよう！)

令和6年10月からICT活用工事の発注者指定型の対象となった河川堆積土砂撤去工事において、実現場を使ってICTを体験するセミナーです。

小規模工事で活用できるICTの紹介や、普段の工事で実施することが多い位置出し作業等を、3次元データとトータルステーション(TS)を用いて演習を行います。今回の講習会では3次元点群データやICT建機は使用しません。

日時 令和7年9月25日(木) 10:00～16:00 (受付9:45)

場所 座学：美祢市民会館(美祢市大嶺町東分326-1)
 体験：二級河川厚狭川(美祢市西厚保町本郷)

定員 20名(先着順)

対象者 小規模の河川堆積土砂撤去工事でICT技術を活用し現場の生産性を上げたい建設会社の方

申込み 右に示すQRコードを読み取り、申込みフォームから申し込んでください。

※申込受付期間：令和7年9月18日(木)17時まで

その他 本セミナーは継続学習制度(CPDS)の認定を受けています。



(4ユニット)

※マイナンバーカードなど本人確認ができるものを持参してください。

セミナーの内容

- 小規模工事におけるICT活用のポイント
- 簡易な3次元設計データ作成実習
- 3次元データを活用した計測実習と出来形帳票作成実習

※今回の講習会ではドローンやレーザースカナによる点群やICT建機は使用しません！



建設維新ICTセミナー3.0(ロバミミ編)

第2回

令和7年度

主催：山口県

建設維新ICTセミナー3.0

ロバミミ編

(路盤工事のICTを見て身に着けよう！)

令和7年10月からICT活用工事の発注者指定型の対象と予定しているICT舗装工(路盤工)において、実現場を使ってICT技術を体験するセミナーです。

小規模工事で活用できるICT技術の紹介や、普段の工事で実施することが多い位置出し作業等を、3次元データとトータルステーション(TS)を用いて演習を行います。今回の講習会では3次元点群データやICT建機は使用しません。

日時 令和7年10月10日(金) 10:00～16:00 (受付9:45)

場所 座学：下松市役所2階201会議室
 体験：都市計画道路豊井恋ヶ浜線道路築造現場

定員 20名(先着順)

対象者 路盤工事でICT技術を活用し現場の生産性を上げたい建設会社の方

申込み 右に示すQRコードを読み取り、申込みフォームから申し込んでください。

※申込受付期間：令和7年10月3日(金)17時まで

その他 本セミナーは継続学習制度(CPDS)の認定を受けています。



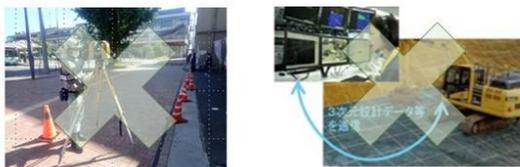
(4ユニット)

※マイナンバーカードなど本人確認ができるものを持参してください。

セミナーの内容

- 小規模工事におけるICT活用のポイント
- 3次元設計データ作成実習
- 3次元データを活用した計測実習と出来形帳票作成実習

※今回の講習会ではドローンやレーザースカナによる点群やICT建機は使用しません！



建設維新ICTセミナー3.0(ノリスケ編)

第1回

令和7年度

主催：山口県

建設維新ICTセミナー3.0

ノリスケ編

(法面工事の出来形管理をスケールなしで効率化しよう！)

令和8年10月からICT活用工事の発注者指定型の対象と予定しているICT法面工(植生工・吹付工)において、実現場を使ってICT技術を体験するセミナーです。法面工事の出来形管理で活用できるICT技術の紹介や、レーザースカナを用いた演習を行います。今回の講習会では3次元設計データやICT建機は使用しません。

日時 令和7年2月10日(火) 10:00～16:00 (受付9:45)

場所 座学：周東中央福祉会館 研修室2
 〒742-0417 岩国市周東町下久原1208-1
 体験：岩国市周東町瀬越小畑

定員 20名(先着順) ※定員が少ないので建設会社を優先します。

対象者 法面工事でICT技術を活用し現場の生産性を上げたい建設会社の方
 ※県・市の発注者も参加可能です。

申込み 右に示すQRコードを読み取り、申込みフォームから申し込んでください。
 ※申込受付期間：令和7年2月3日(火)17時まで

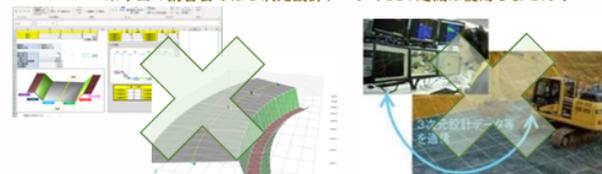
その他 本セミナーは継続学習制度(CPDS)の認定を受けています。
 ※マイナンバーカードなど本人確認ができるものを持参してください。(4ユニット)



セミナーの内容

- 小規模工事におけるICT活用のポイント
- 3次元点群データ取得体験
- 3次元点群データの利活用と出来形帳票作成実習

※今回の講習会では3次元設計データやICT建機は使用しません！



① 建設維新ICT支援プロジェクト

○ICT活用工事を中小建設会社に広く普及させるためには、市町が発注する工事においても積極的な導入が不可欠であることから、人口5万人規模の下松市が対応する小規模な工事を対象にICT活用工事の支援。
 ○3次元設計データの作成や、3次元点群データの利活用について、県・下松市と建設会社が一体となって学び合いながら取り組み、現場でのICT技術の普及促進に努めた。

開催年月日	イベント名
2024.9.10	建設維新ICT勉強会(下松市職員向け)
2024.9.11	建設維新ICT相談会(下松市発注工事受注業者向け)
2024.10.2-3	建設維新ICT支援プロジェクト(下松市職員及び建設会社が同時に学ぶ)
2024.11.18	わくわく土木土木とよっこ現場見学会(地元小学生にICT技術を披露)
2025.2.5	極みの一步体験会～内製化への道3D～(下松市発注工事現場)
2025.3.4	建設維新ICT支援プロジェクトLastDay(振り返り・動画撮影)
2025.4.15	第3回建設維新スリム化セミナー(建設会社及び下松市役所職員向け)
2025.6.25	建設維新ICTセミナー3.0カセタイシュウ編(下松市管理の準用河川)
2025.7.6	建設維新ICTセミナー3.0カセタイシュウ編(下松市管理の準用河川)
2025.7.16	極みの一步体験会～内製化への道3D～(光市発注工事現場)
2025.7.18	極みの一步体験会～内製化への道3D～(周南市発注工事現場)
2025.8.7	第5回建設維新スリム化セミナー(建設会社及び山口市役所職員向け)
2025.9.22	建設維新ICTセミナー3.0カセタイシュウ編(下松市管理の準用河川)
2025.9.25	第6回建設維新スリム化セミナー(建設会社及び宇部市役所職員向け)
2025.10.10	建設維新ICTセミナー3.0ロバミ編(下松市発注工事現場)
2025.10.17	第4回現場をポケットにセミナー(下松市役所で開催)
2025.12.10	第2回建設DXシンポジウム(県内市町へのPLATEAUの普及促進イベント)
2025.12.17	令和7年度ICT施工管理研修(下松市発注工事現場で初実施)
2026.3.14	わくわく土木土木マイクラ下松シティで君だけの乗り物をデザインしよう(小学生の3D体験)



下松市内の受注者

最初は正直、半信半疑だった。だが、下松市職員の強い熱意に背中を押され、思い切って取り組んでみた。結果は想像以上だった。現場は確実に楽になり、生まれた時間で、もう一つ別の現場を動かす余裕もできた。今では近隣の業者から「教えてほしい」と連絡が来るようになり、職員の中でも、特に若手がイキイキと、自信をもって仕事に向き合う姿が目立つようになった。あの一步が、現場と人の両方を変えたのだと思う。



下松市内の受注者

家族4人で営む会社だが、父が現場で培ってきた確かなノウハウと、息子たちのデジタルスキルが見事にかみ合った。その結果、息子たちは自分の強みを発揮しながら、イキイキと会社を支えてくれる存在になっている。河川堆積土砂撤去工事では、「本当にこれでいいのか」と思うほど作業が楽になり、現場の負担が減っただけでなく、利益率も格段に向上した。経験とデジタルが融合することで、小さな会社でも大きな変化を生み出せることを実感している。



下松市内の受注者

正直なところ、従前の工事と比べて、各種経費はかなり抑えられている。それにもかかわらず、3次元設計データの作成費までもらえるのは、本当にありがたい。生まれた余力は、従業員の給与改善や、新たな設備投資にしっかり還元したい。だからこそ、ここで立ち止まらず、次に何に挑戦すべきかを教えてほしいと思っている。



下松市職員(幹部)

下松市では、小規模な建設DXの普及に向けて、試行錯誤を重ねながら奮闘している。その取り組みは、着実に現場へと広がり始め、イキイキと働く職員の姿も少しずつ増えてきた。この流れを一過性のものにせず、次の段階へとつなげていくためにも、今後も山口県と連携しながら、共に取り組んでいきたい。

① 建設維新ICTに関する動画

○2024年7月に、中小建設会社の経営者を対象としたセミナーを実施したが、参加者は限られており、忙しい経営者にとって、時間を確保して会場に足を運ぶことの難しさが改めて明らかとなった。
○そこで、より多くの経営者に建設業界の課題やICT活用の必要性を届けるため、同じ立場である中小建設会社の経営者が中心となって語る動画を制作・発信する取り組みを開始。

小規模土工でTS出来形技術やAR技術を使ってみました

下松市役所が発注した小規模現場での取り組みを紹介した動画です。



DXで変わる建設現場～株式会社木村建設の取組～

周防大島町で活躍する建設会社の取り組みを紹介した動画です。



○その他の建設維新ICT動画



視聴回数1万回超
ICT法面工の動画



私たちはできる！
内製化への挑戦



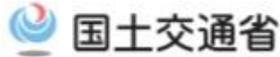
NEW

近日公開予定

災害復旧に
点群データを活用

① 令和2年度i-Construction大賞 地方公共団体の取組部門 優秀賞

建設維新ICTセミナー



推薦整備局等	中国地方整備局
地方公共団体名	山口県
取組主体	山口県

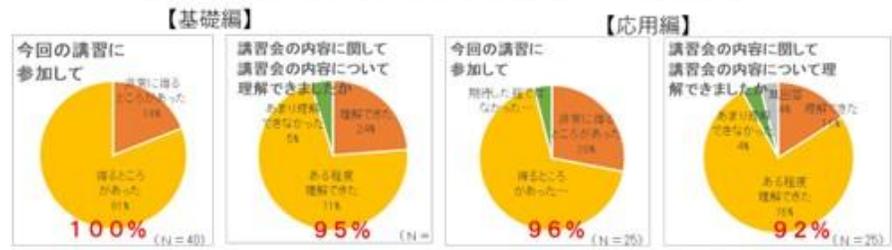
【取組概要】
 ICT活用工事の普及促進のため、ICT導入に取組む建設企業の人材育成を支援する「建設維新ICTセミナー」を開催。
【建設維新ICTセミナーの概要】
 (1) 主催：山口県
 (2) 内容
 ・受注者向けセミナー（基礎編・応用編）
 ・発注者向けセミナー（監督者向け講習）
 ・ICT活用工事相談会
 ・建設維新ICTモデル工事による効果検証



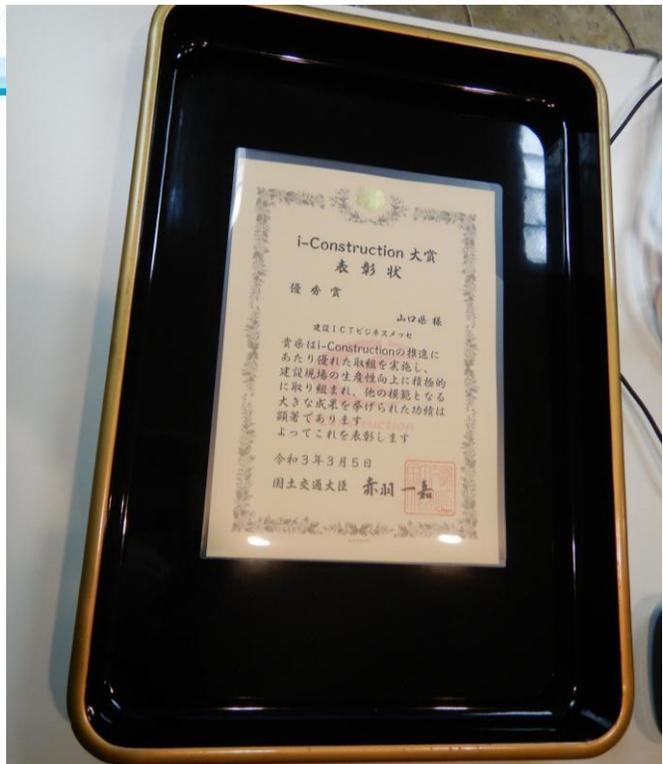
【ICT活用工事相談会】



【セミナー実施および受講者のアンケート結果】



【ICTモデル工事の取組（一例）】

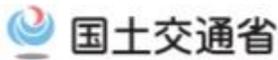


- 「受注者向けセミナー」は、ICT活用工事に限らず、全ての現場で3次元設計データの活用による効率化を目指す実践的内容
【基礎編】
 - ・ICT活用経験の無い技術者を対象とした、「簡易型ICT活用工事」に対応した体験型学習
 - ・簡易的なデータ作成、自動追尾式TSを用いた丁張設置、出来形計測など普段使いに着目した活用方法を体験**【応用編】**
 - ・ICT活用工事の基礎技術となる3次元設計データの作成技術を習得する実技講習会
 - ・3次元設計データを利用したVRやAR監督・検査などの先端技術を体験
- 「ICT活用工事相談会」は、ICT活用工事を初めて実施する県発注工事の発注者に対して、施工計画の立て方などを専門家から助言。
- 「建設維新ICTモデル工事による効果検証」では、ICT活用工事が定着している現場において、更なる生産性向上が期待できる技術を実際の工事で活用し、効果を検証。また、建設維新ICTモデル事業で実施した内容をYouTube配信し、効果PR。



① 令和7年度インフラDX大賞 地方公共団体の取組部門 優秀賞

小さな現場でこそ光る建設維新ICT3.0



推薦整備局等 中国地方整備局
 地方公共団体名 山口県
 取組主体 山口県

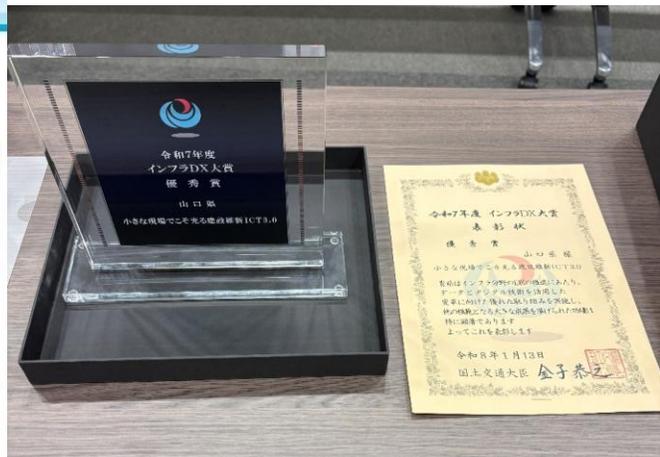
【取組概要】

山口県が進める「建設維新ICT3.0」は、地方の中小建設会社でも実践できる、身近で実用的なICT活用を重視したプロジェクト。国土交通省が推進するi-Construction2.0を踏まえつつ、小規模現場でも効果を実感できる制度づくりに取り組み、県発注工事だけでなく、市町発注工事を含めた地域全体で建設DXを推進している。

ICT活用工事が地方で広がりにくい背景には、誤解や外注依存といった課題がある。こうした課題を解消するため、技術導入だけでなく業務プロセスの見直しも進め、省人化・生産性向上や働き方改革を目指している。さらに、指定型の拡大、体験型セミナー、SNS発信、市町支援など、多面的な現場主導の取組で、持続可能なインフラ整備を後押ししている。

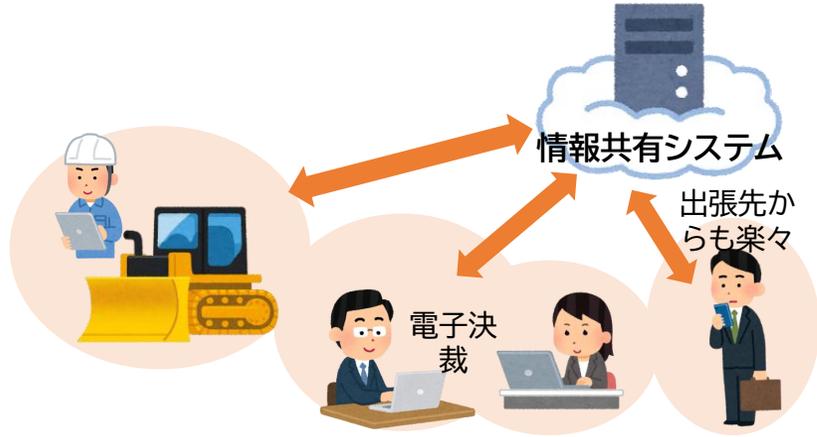
建設維新ICT3.0～10の取組み～

<p>①内製化支援プロジェクト～私たちはできる型～</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT活用工事に取り組むことが原則・3次元設計データ作成外注不可。 発注者の負担で取組みを全面的にサポート <p>①3次元測量 ②3次元設計データ作成(内製での実施) ③ICT施工 ④出来形管理 ⑤3次元データ納品</p>	<p>⑥建設維新ICT支援プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口5万人規模の下の市が発注する現場を対象に支援を実施 3次元設計データ作成や、3次元点群データ活用について、発注者が一役となって学ぶ 令和7年度は光市と周南市でも実施 <p>学んだ知識を生かして小学生向けイベントを開催 AR技術を使って現場のイメージを共有</p>
<p>②発注者指定型の導入と拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT建機を使うことがICT活用工事ではないこと、ICTの活用は現場の規模を問わないというメッセージを出すため、土量や金額による制限は設けない方針 発注者指定型の対象 <ul style="list-style-type: none"> 3次元データが準備されている工事(全ての工種を対象) 河川林積土砂撤去工事 (ICT土工) 路盤工事 (ICT舗装工) ※TSIによる出来形管理も可! 	<p>⑦建設維新ICT勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> 発注者自身も最近の動向や監督・検査業務における実施内容を学ぶ必要あり 3次元データを身近に感じてもらうためのイベントも開催 <p>県・市町の職員が200名以上参加</p>
<p>③建設現場の生産性向上イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度は40以上のイベント 参加者はのべ2,000人以上! 令和7年度国土交通白書に掲載された を使って拡散! 	<p>⑧建設維新ICT動画の公開</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの経営者に建設業界の課題やICT活用の必要性を届けるため、同じ立場の経営者が中心となって語る動画を制作
<p>④建設維新ICTセミナーのアップデート</p> <ul style="list-style-type: none"> より小規模現場でICT活用工事について学び、内製化を促進するためのセミナーにアップデート 	<p>⑨建設維新スリム化セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設現場の生産性向上には、ICTの活用に加え、書類のスリム化や各種業務の効率化といった現場支援の取組も不可欠
<p>⑤はじめ"ホンキ"極み"体験会"はじめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱練度に応じた体験会を開催 これまで30回以上の開催 のべ1,000人以上が参加 	<p>⑩SNSによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設産業の魅力や取組みに関心を持ってもらう、理解や信頼の向上、将来の担い手確保につなげるために、SNSを活用した情報発信を実施 令和7年5月にフォロワー数2000超 <p>Instagram YouTube SNSフォロワー数30万超</p>



- 地方の中小建設会社でも実践可能なICT活用を推進し、生産性向上と技術力の底上げを実現。ICT工事件数や実施企業は年々増加し、研修や体験会には産学官が幅広く参加。SNS発信による普及や建設業のイメージ改善にも効果を発揮。
- 地方建設業の実情に即した先進的なICT活用モデルであり、「内製化」を条件とした発注者指定型ICT工事や、機材不要のセミナーにより中小事業者でも取り組みやすい仕組みを構築。さらに、市町を対象とした個別支援プロジェクトを展開し、実践的な成果を創出。
- 高額なICT建機や専門人材を必要としない「身の丈に合ったICT活用モデル」であり、他自治体でも即時導入可能な点で波及性が極めて高い。

② 情報共有システムの軌跡



2025.10 全ての土木事業の工事・業務で発注者指定型へ

2024.10 一部の土木事業の工事で発注者指定型を開始

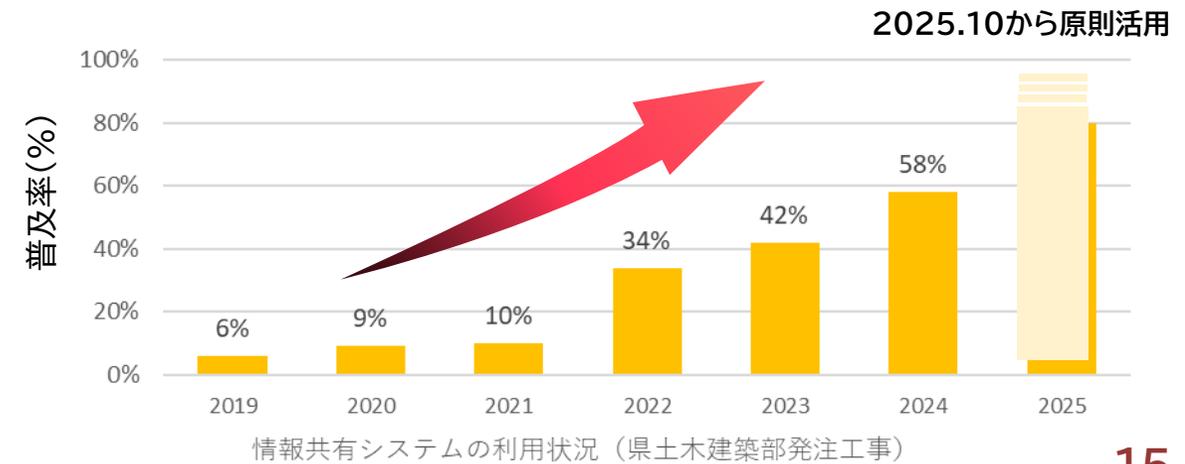
2024.4 営繕工事の成績評定の加点対象

2022.5 土木工事の成績評定での加点を開始

2021.4 土木事業の業務委託で情報共有システムを導入

2019.4 土木事業の工事で情報共有システムを導入

2018.5 工事情報共有システム試行要領の作成



② 情報共有システム

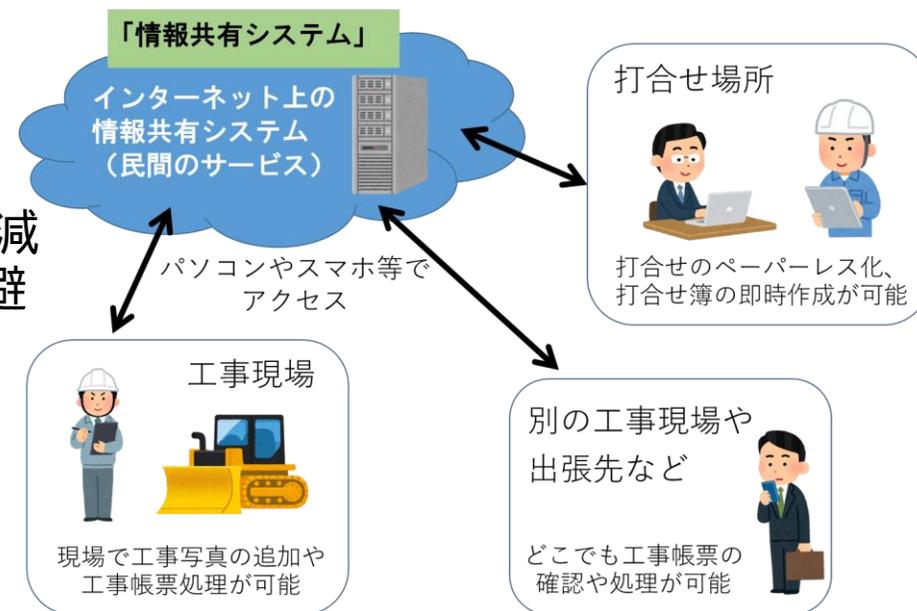
- 受発注者間の書類やデータのやり取りを効率化し、業務の生産性を向上させることを目的として導入。
- 紙による提出・保管作業や、大容量データの受け渡しに要していた時間と手間を削減し、ペーパーレス化を推進するとともに、迅速かつ確実な情報共有を実現する。
- これにより、業務の省力化・時間短縮・コスト削減を図り、付加価値の高い業務へ人的資源を振り向ける。

実施方法

- ①受注者の申し出
- ②利用するシステムの確認
- ③システムで処理する内容の確認
- ④成果品のオンライン電子納品

主な効果

- (受注者)
- ・単純作業に要する時間の削減
 - ・打合せ簿紛失トラブルの回避
 - ・大容量データのやりとり
- (発注者)
- ・円滑な工事帳票処理



情報共有システムを活用すると

- ① 紛失・未返却がなくなる → 書類管理の透明性が向上
- ② 容量を気にせず運用できる → 大容量ファイルもスムーズに共有
- ③ 書類整理が不要になる → 自動整理で手作業がゼロに

電納ASPer
(建設総合サービス)

現場クラウドOne
(現場サポート)

RevSIGN
(建設システム)

Information bridge
(アイサス)

Basepage
(川田テクノシステム)

Being Collaboration PM
(ビーイング)

【参考】山口県で使用実績のあるシステム一覧

③ 遠隔臨場の軌跡



段階確認に要する
20分なら今日
確保できる！



遠隔臨場に必要
な作業員なら
今日確保できる！

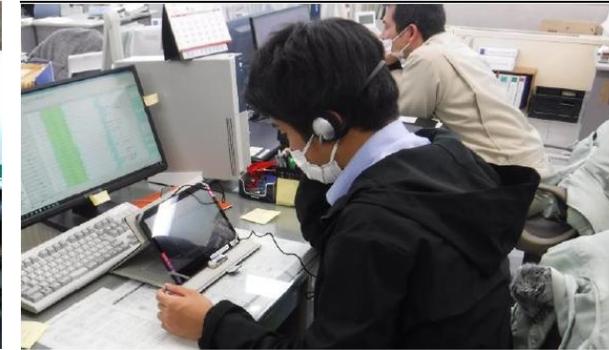
【受注者】

【発注者】

発注事務所

移動時間を他の
仕事に充てること
ができる！

★ 早期完成 ★



2024.4 遠隔臨場の本格運用開始 (受発注者の協議により実施可)

2023.6 遠隔臨場の受注者希望型による本格運用の開始

2022.5 工事成績評定での加点対象

2021.10 遠隔臨場の手続き簡素化、業務委託にも拡大

2021.5~7 受発注者へのアンケート調査実施

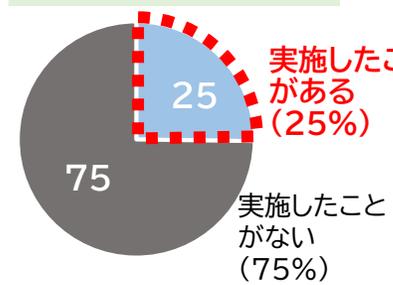
2020.9 試行事例レポートを発刊し、情報共有と利用促進

2020.6 工事での遠隔臨場の試行開始

現場急行の回数減少



【回答者全体】
遠隔臨場の実施経験



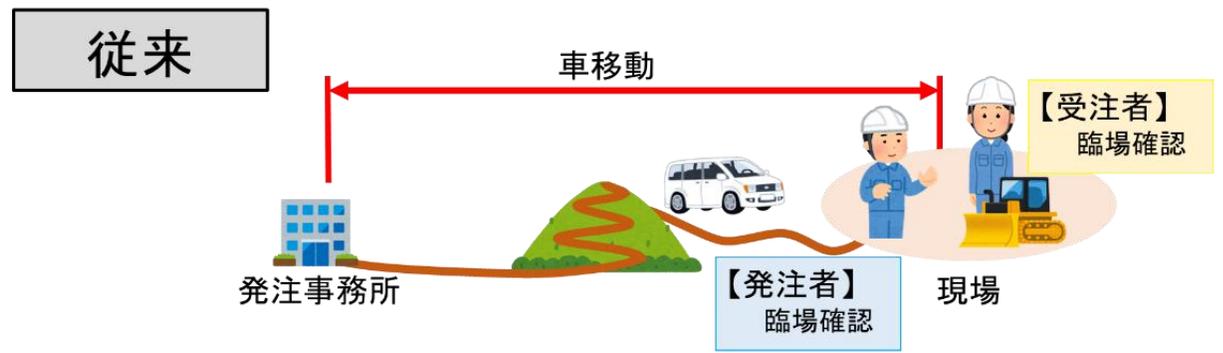
【実施経験がある回答者】
遠隔臨場で業務が効率化されたと感じるか



③ 遠隔臨場

- 段階確認や立会を効率化し、移動や待機時間の削減によって生産性を向上させることを目的として導入。
- モバイル端末等を活用した双方向通信により、現場に赴かなくても必要な確認を適切に実施できる体制を構築し、移動に伴う時間的・人的負担を軽減する。
- これにより、働き方改革の推進、災害時や広域分散現場への迅速な対応、さらには職員・受注者双方の業務効率化とコスト縮減を図る。

<p>イメージ</p> 	<p>監督職員 (@事務所)</p> <p>受注者 (@現場)</p>
<p>作業の流れ</p> <p>②現場の映像・音声を受信</p> <p>④確認項目(例:上げ墨)を確認 撮影範囲等をリクエスト</p> <p>⑤必要な情報が確認できた場合は、 その旨を受注者に伝える</p> <p>→ 「遠隔臨場」成立!</p> <p>※必要な情報が確認できない場合は、 従来どおり現地臨場で確認する</p>	<p>①通信を開始 (例:LINEビデオ通話、zoom等)</p> <p>③確認対象を端末のカメラで撮影し、 撮影位置やスタッフ読み値等を報告 (従来の立会状況撮影の代替)</p>
<p>必要な機器等</p> <p>・インターネット接続パソコン もしくはタブレット等 【注意】業務用PCではTeams,Zoom対応可</p>	<p>・スマートフォン、タブレット、 ウェアラブルカメラ等</p> 



④ UAVの利活用の軌跡



2026.1 山口県建設DX推進計画(第参版)公表

2025.11 第3回UAVやまけんカップ

2025.4 県営住宅の屋根等の点検での活用開始

2025.4 海岸保全施設の点検での活用開始

2024.12 第2回UAVやまけんカップ

2024.4 ダム堤体の点検での活用開始

2023.12 第1回UAVやまけんカップ

2023.11 都市計画課でドローン講習会

2023.10 建築指導課と共同で県所有施設のドローン撮影会を実施

2022.11 第0回UAVやまけんカップ

2022.10 柳井土木でドローン講習会

2022.9 防府土木でドローン講習会

2022.7 周南土木でドローン講習会

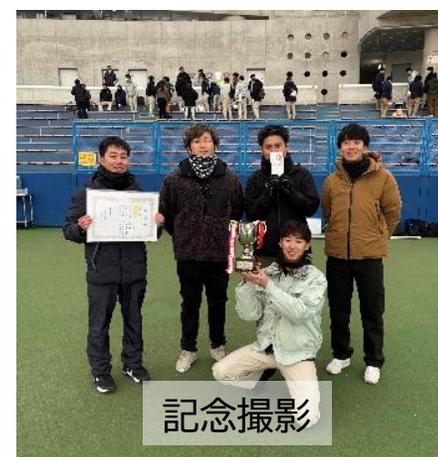
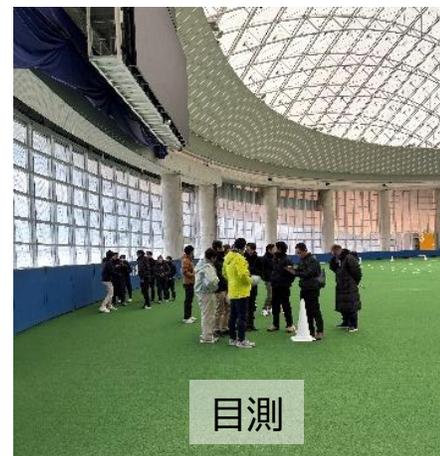
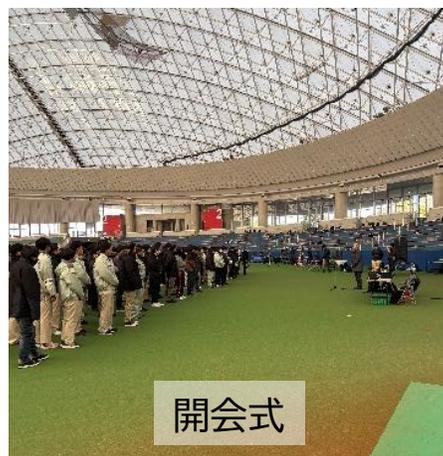
2022.7 ドローン講習会の開始

2020.4 UAVの導入開始



④ UAVやまけんカップ

- 工事の進捗状況、インフラの点検及び災害時の被災状況の確認を行うために全職員がUAVの操作ができるようイベントを開催。
- 県及び市町職員が楽しく学ぶことができ、交流の場として大いに活用。
- 試行の第0回大会では県内の自治体18チーム(約120人)が参加、以降、回を追うごとに参加チームは増え、第3回大会では32チーム(約250人)が参加。



⑤ 3次元点群データの利活用の軌跡



2026.2 ふじの国スマートツアーⅡ

2026.2 第3回ふくの国3Dデータイノベーションラボ

2025.12 3次元点群データ利活用支援プロジェクト開催(in岩国市)

2025.11 3次元点群データ利活用体験会
at第3回UAVやまけんカップ

2025.10 第4回 現場をポケットにセミナーの開催(in下松市)

2025.9 県職員によるLRTK Phoneを用いた点群取得の試行開始

2025.7 第3回 現場をポケットにセミナーの開催(in山口市)

2025.7 第2回、第3回 現場をポケットにセミナーの開催(in下松市)

2025.5 第1回 現場をポケットにセミナーの開催(in下松市)

2025.5 第2回ふくの国3Dデータイノベーションラボ

2025.4 県職員によるLiDARを用いた点群取得の試行開始

2025.3 ふくの国3Dデータイノベーション・ラボの立ち上げ・第1回の開催

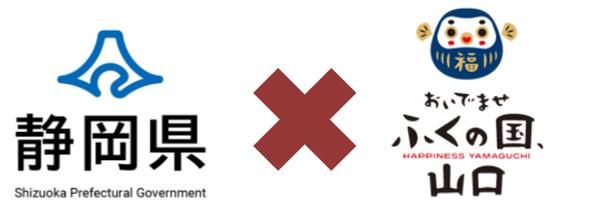
2025.2 ふじの国スマートツアー

2024.12 3次元点群データ利活用体験会at第2回UAVやまけんカップ

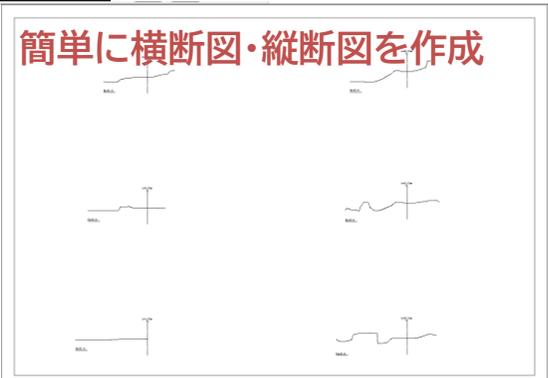
2024.8 3次元点群データ利活用研究会へ加入

⑤ モバイル端末を利用した3次元点群データの利活用

○iPad Proなどに付属しているLiDAR等を利用して、点群データの取得から縦横断面図等の作成を行う。
○点群データの編集が可能なCAD等のソフトウェアを利用することで、誰でも簡単に取得した点群から横断面図や縦断面図を作成することができる。



3次元点群データをソフトウェアに取り込む

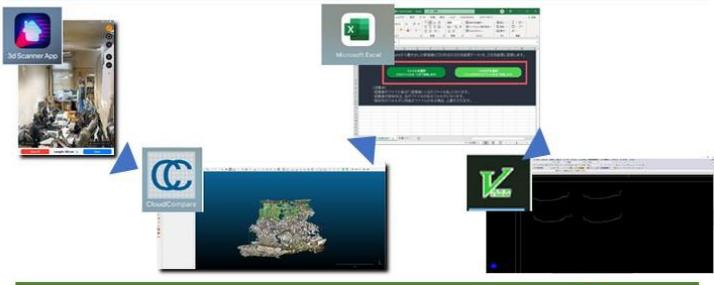


第1回
LiDARで現場をデジタル化！現場をポケットにセミナー
【LiDARを用いた3次元点群データの取得と点群処理ソフトウェアの活用】

本セミナーは、県及び市町の行政土木エンジニアを対象にした、LiDARを用いた3次元点群データの取得方法と点群処理ソフトウェアを活用した横断面図の作成手法を習得することを目的としたセミナーです。
3次元点群データを利活用することで、災害復旧業務等の行政土木エンジニアの業務の生産性を爆上げをしましょう！

- 日時 令和7年5月23日(金) 13:20~16:00 (受付13:00~)
- 場所 下松市役所 5階 503会議室 (下松市大手町3丁目3-3)
- 定員 20名 (先着順)
- 対象者 周南土木建築事務所管内の県及び市町の職員
- その他 iPad pro (またはiPhone proを持参してください)

- 勉強会の内容
- LiDARによる3次元点群データの取得
 - 3次元点群処理ソフトウェアの活用・横断面図の作成
 - 3次元点群データに関する意見交換



ふじの国スマートツアー
(2025年2月20日)にて学ぶ

申し込みはMicrosoft Formsからお願いします
URL: <https://forms.office.com/r/amQYXcNIC3>
右の二次元バーコードをクリックするか読み取ることでも対応できます



⑤ ふくの国3Dデータイノベラボ

○3次元点群データが社会課題の解決に向けて情報インフラとして利活用され、山口県の土木行政の課題解決や建設DXが推進されることを最終ゴールとして、研究や意見交換を行うもの。

□意見交換の内容

- ・3次元点群データの取得・利活用の内製化に向けた議論(普段使い) ・災害査定への3次元点群データの利活用に関する情報共有
- ・3次元点群データ利活用研究会の報告 ・3次元点群データのBIM/CIMへの利活用 ・3次元点群データで遊んでみようの話 等

□開催実績

第1回:2025年3月3日

- ・開会・趣旨説明・自己紹介
- ・3DDBシステムの紹介
- ・3DDBシステムを使ってみよう
- ・ふじの国スマートツアーの成果報告
- ・意見交換

第2回:2025年5月19日

- ・山口県の測量設計会社はココまでできる！
- ・3次元点群データを活用した道路台帳の更新について
- ・意見交換

第3回:2026年2月5日

- ・3次元点群データを用いた遠隔災害支援
- ・3次元点群データを活用した施設台帳更新の高度化・効率化
- ・3次元点群データで現場をポケットにセミナー
- ・下松市における3次元点群データ利活用について
- ・周南市における3次元点群データ利活用について
- ・意見交換

(周南市)形の定まらない複雑な構造物の数量算出に活用
園内の石碑の移設では、石材体積から重量を算出し、クレーン規格等施工計画、及び施工費の見積に反映

名称	規格形状	算式	単位	数量
鳥獣魂碑本体	石	3.540x2.600	9.22 t	9.22
鳥獣魂碑石1	石	0.021x2.600	0.05 t	0.05
鳥獣魂碑石2	石	0.118x2.600	0.30 t	0.31
鳥獣魂碑石3	石	0.143x2.600	0.37 t	0.37
鳥獣魂碑石4	石	0.018x2.600	0.04 t	0.05
養縁箱	1		1.000 基	1.00
礎石	2		2.000 基	2.00
高麗砂石	規格形状: 60x40x100mm	0.442	0.442 m ²	0.44
コンクリート	規格形状: 100x100x100mm	0.442x0.1	0.044 m ³	0.04
高麗砂石	規格形状: 60x40x100mm	5.073	5.073 m ²	5.07
コンクリート	規格形状: 100x100x100mm	5.073x0.1		

TOKUYAMA ZOO 周南市徳山動物園

(下松市)マスコットの点群を撮ってイベント利用
地元小学生と一緒にマイクラフト体験のイベントを実施

④マスコットの点群を撮ってイベント利用

下松市公式マスコットキャラクター「くだまる」

着ぐるみの点群データを取得

3/14 (土) わくわく土木士ホ マイクラ下松シティで 君だけの乗り物をデザインしよう! ~作って動かす! マイクラ乗り物チャレンジ~

「点群」マイクラで、デジタルな下松市を再現しよう!! つくる! 自分だけのオリジナルカーを製作! はしる! 道群でできた道も、君の作った車でドライブ!

会場: 下松市市民交流センター 暮らしほろろ 会議室1号 (下松市立中央図書館2階)

対象: 下松市立小学校~6年生 (定員15名)

主催: 下松市 共催: ConderDop(共催) 申込は、こちら (後着順) 協力: 徳山測量のみなさん 開催日: 3月14日(土) 13:30~16:00 (受付13:15)

⑤ 河川地形の変状監視

○水面下を含む3次元点群データを取得

- ・被災時等に再度取得したデータと比較し、従来河道の復元や土砂堆積量の把握が可能
- ・UAV等のデジタル技術を活用することにより迅速かつ安全にデータ取得が可能

○360°カメラ搭載UAVで河川連続画像を取得

- ・机上である程度の河川状況を確認でき、河川版ストリートビューとして業務の効率化が可能

○河川情報管理システム(仮称)を構築

- ・3次元点群データおよび360°カメラ連続画像の閲覧
- ・施設台帳等を電子化し、一元管理を行うことで業務を効率化

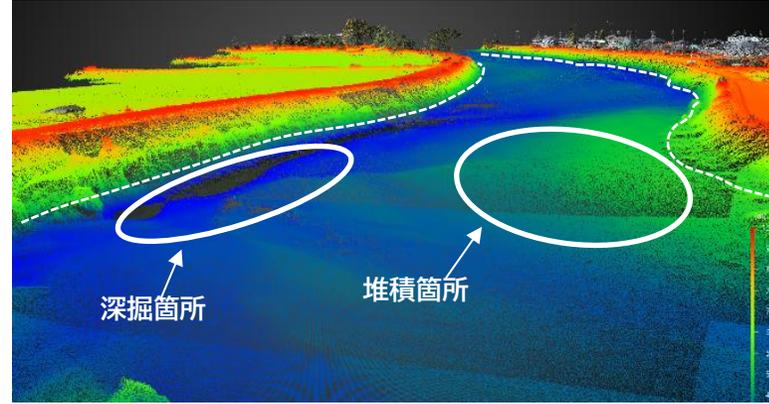
■3次元点群データ等の取得



従来の測量



UAV等の活用



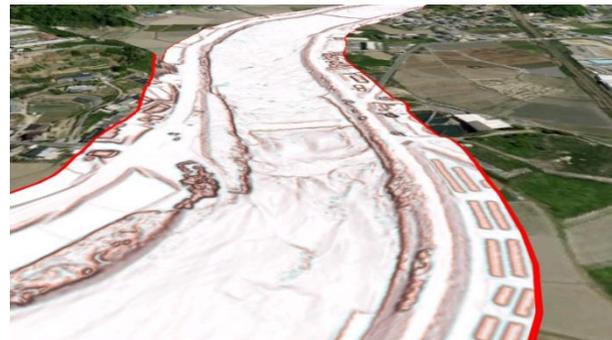
河川3次元データ:これを基に河川地形の変状監視

■3次元点群データ取得の現場見学会



島田川で実施(2022.5.25)

■河川情報管理システム(仮称)



3次元点群データの閲覧



河川版ストリートビュー



変状の監視



台帳の管理

⑤ スマート測量による現場DXの推進

位置座標付き3次元点群データ取得機器を活用し、災害時等の現場確認の記録を迅速かつ的確に実施できる体制を構築する。

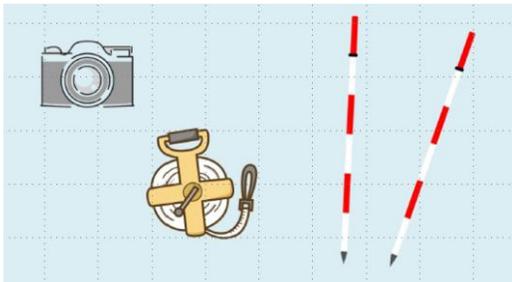
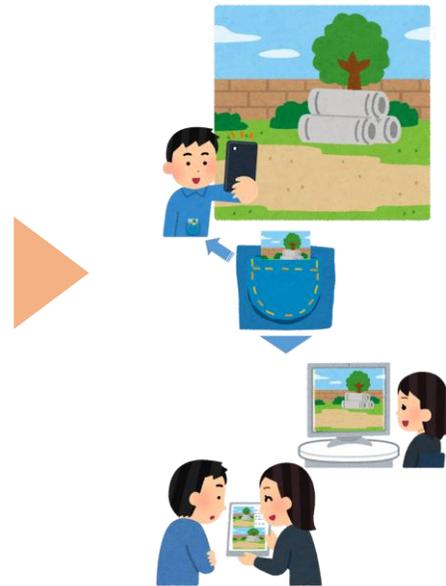
(期待する効果)

- ・人員が限られる中でも少人数で安全に現場対応が可能
- ・得られた高精度な点群データは、早期復旧に向けた関係機関との情報共有や住民への説明資料としても有効
- ・複雑な測量作業を簡素化することで、職員の負担を軽減し、被災現場での危険な作業を最小限に抑えることができる
- ・さらに、復旧判断や設計検討のスピードアップにも貢献



■3次元点群データを使用することでの効果

	従来	3次元点群データ	効果
後計測	測ったところのみ	計測範囲なら何度でも	再計測の回数軽減
見える化	2次元(1方向視点)	3次元(自由視点)	合意形成の迅速化
図面化	ポールを使用	データからCAD化	計測人員の省力化



■座標付きのメリット

	座標なし	座標付き
空間的な位置精度	相対的な形状のみ	世界測地系の正確な座標情報がある
図面やGISとの連携	他の図面や地図データと重ねることができない	CAD図面やGISに重ねて利用可能
災害復旧工事	ICT活用工事には使用できない	ICT活用工事に利用できる
将来の利用	断片的な記録となり、活用範囲が狭い	デジタル台帳、維持管理計画等、様々な分野で活用可能

座標付きの3次元点群データを使えば、いんふらまるごとマネジメント(ふらまる)と連携可能！

山口県警は既に導入済

※より高価な地上型レーザースカナを使用しています。



山口県 いんふらまるごとマネジメント Ver.1mm-001

新公共土木情報領域を拓く。

公共データの力、あなたの手に

いんふらまるごとマネジメントとは 山口県土木建築部が保有するオープンデータを公開するための専用サイトです。オープンデータの検索・ダウンロードが容易で、ダウンロードしたデータはご利用いただけます。

山口県土木建築部が保有するオープンデータを公開するサイトをOPENしました！！

山口県土木建築部が保有するオープンデータが公開されました。県民の生活を支える道路や橋などの公共土木情報に関する情報を、これを活用することで、様々なサービスや取り組みが実現可能となります。

オープンデータを使って何が出来るの？

山口県土木建築部が保有するオープンデータは、県民の生活を支える道路や橋などの公共土木情報に関する情報を提供しています。これを活用することで、様々なサービスや取り組みが実現可能となります。

防災対策の促進と オープンデータを活用して、防災の観点から道路や橋の状況を把握し、災害時の対応に活用できます。また、災害時の復旧作業にも活用できます。

防災対策の強化 オープンデータを活用して、防災の観点から道路や橋の状況を把握し、災害時の対応に活用できます。また、災害時の復旧作業にも活用できます。

公開しているオープンデータの一部をご紹介します

道路	橋	トンネル	トンネル	トンネル	トンネル
トンネル	トンネル	トンネル	トンネル	トンネル	トンネル

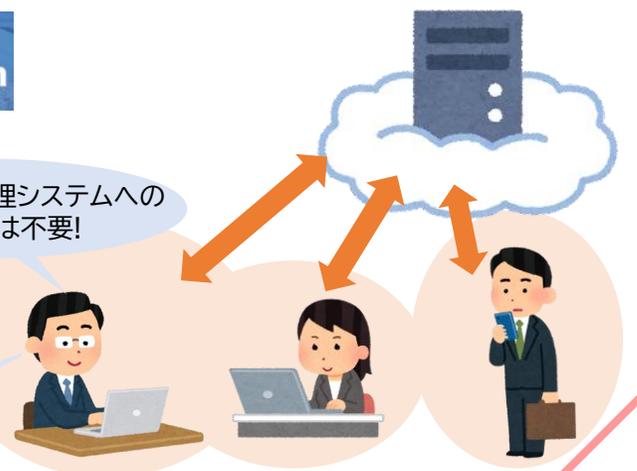
山口県 いんふらまるごとマネジメント
https://infra.marumoto.jp/

⑥ オンライン電子納品の軌跡

My City Construction

電子納品保管管理システムへの登録作業は不要!

ASPにより連携可能で登録が楽!



2025.10 全ての土木事業でオンライン電子納品を必須へ

2025.2 建設維新スリム化セミナーでオンライン電子納品の利用方法を説明

2024.11 下松市でオンライン電子納品に関する説明会を実施

2024.10 一部の土木事業で発注者指定型の開始

2024.3 岩国市でオンライン電子納品の試行を実施

2023.4 県全域での試行開始

2022.4 モデル事務所での試行開始

2019.4 MCC(My City Construction)研究会に加入しました



⑥ オンライン電子納品

○オンライン電子納品システム

受注者が検査前に電子納品成果をアップロードでき、点群やドローン等の重いデータについても円滑にプレビュー表示や検索ができ、また公開データについては誰もが検索できる、全体として使いやすく透明性の高いバランスの取れたシステム

実施方法

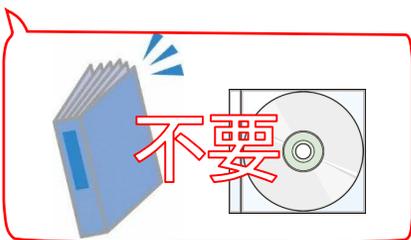


受注者

- ①ユーザ登録
- ②ログイン
- ③工事情報登録
- ④成果品登録(アップロード)
- ⑤承認申請

インターネット上を利用した電子納品システム

情報共有システムとも連携可能!



発注者

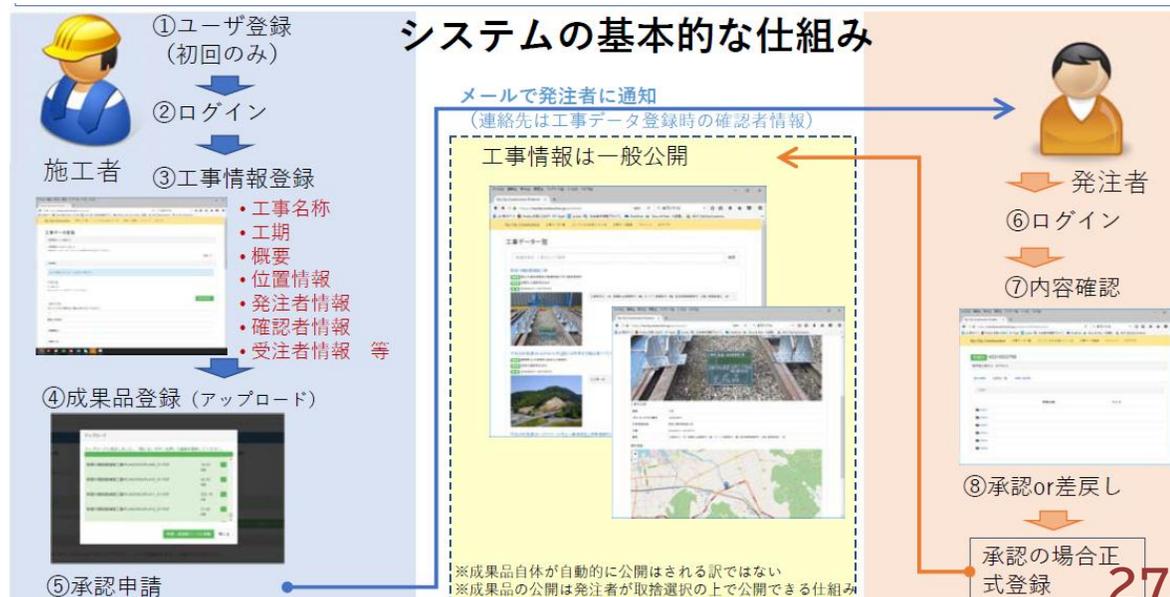
My City Construction



主な効果

- ・情報共有の迅速化
- ・電子媒体作成の削減、提出の手間軽減
- ・保管管理作業の軽減や登録漏れの防止
- ・資料貸与の効率化

システムの基本的な仕組み



⑦ BIM/CIMの軌跡



2025.11 安下庄港の工事現場で3D配筋検査を実施

2025.4 山口県土木業務・工事におけるBIM/CIMに関する実施方針の策定と道路・街路・砂防事業での本格運用開始

2024.11 下松市都市計画街路整備事業にて3DデータとAR技術を用いた住民説明会を実施

2024.10 北山近川の砂防事業にて3Dプリンターを用いた住民説明会を実施

2024.3 通津周東線橋梁建設現場で3D配筋検査を実施

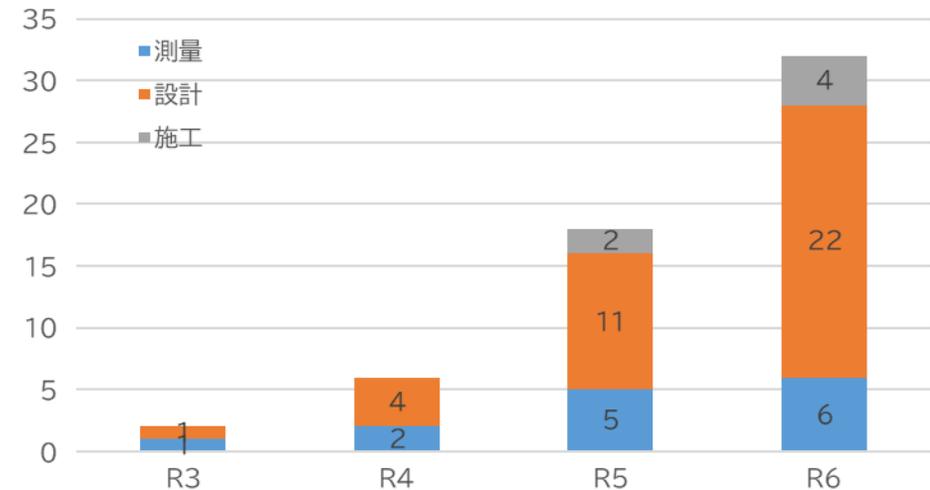
2024.3 周南市御幸通で点群データを取得し、一般公開

2023.10 山口大学と共同でBIM/CIMセミナーの開催

2022.4 3次元モデルを活用した設計や工事の試行、効果検証

2021.7 BIM/CIM導入に関する意見交換(山口県測量設計業協会)

2021.4 BIM/CIMの活用方法の検討開始



⑦ 山口県土木建築部のCIMの方針

- 2025年4月から、道路・街路・砂防事業を対象にBIM/CIMを原則適用
- これまでの検証結果に基づき「山口県土木業務・工事におけるBIM/CIMに関する実施方針」を策定

基本的には国土交通省の定める実施方針に準拠した内容

- 調査結果から、山口県の建設コンサルタントは国土交通省の定める実施方針に十分対応できる知識と技術力を有している。
- 県独自の要領を設けた場合、国とは異なる対応が求められ生産性の低下が懸念される。

国土交通省の実施方針と異なる点

対象事業はこれまでのBIM/CIM業務で活用効果が確認された道路、街路、砂防とする(今後適用範囲を順次拡大)

国とは開始時期が異なることから、県としては移行期間を考慮し設計図書は2次元図面とする

山口県では現在活用しているオンライン電子納品システムを使用する
また、3次元データは公開とすることやCAD図面のファイル形式を追記

BIM/CIMでhappyに!

建設業の課題
・担い手確保
・仕事の楽しさの周知
・働き方改革
・役割の多様化

解決策の答えの一つ
BIM/CIMに取り組む

BIM/CIMに取り組むことのメリット

- 測量
・3D点群データで作業効率UP! (手作業による計測や図面作成の時間を短縮)
- ・高精度な計測! (誤差の少ないデータを取得できる)
- ・データをひとまとめに管理! (測量から設計・施工まで一貫してデータを活用)
- ・測量データをフル活用して業務の価値UP! (データを二次利用し、付加価値の高い提案可能)

■設計
・3D設計でイメージ共有が簡単に! (視覚的に分かりやすく、合意形成がスムーズに)- ・事前チェックで設計ミスを大幅削減! (干渉や問題点を確認し、手戻りや修正を減らせる)
- ・設計と施工が切れ目なくつながる! (3Dデータを施工に活用し、現場との情報共有をスムーズに)
- ・設計の価値を高め、新たな提案が可能に! (データを多目的に活用して新しいチャレンジが可能)

BIM/CIMに取り組むことの課題

- 測量
・3次元点群データの処理が難しい → 測量技術者のスキル向上が必要!
- ・データ容量が大きい → オンライン電子納品を活用!

■設計
・3次元モデル作成の工数増大 → 必要な箇所だけ作成!- ・設計データと施工データの連携不足 → 設計者もICT活用工事を理解!

BIM/CIMに取り組む際のポイント

- 発注者
・「どこで・何のために使うか」をはっきり決める! (どんな効果を期待するのかを明確に)
- ・BIM/CIMを使う範囲を事前にしっかり決める! (必要な場面を見極めて効率よく運用)

■受注者
・まずは小さく始めて、ムリなくステップアップ! (できる部分から少しずつ導入)- ・早い段階で3Dデータを共有し、発注者と認識を揃える! (手戻りを減らしスムーズに)


山口県の持続可能な建設産業の構築のため、BIM/CIMで次のステージへ!
建設業界のデジタルトランスフォーメーションは待ったなしの状況です。山口県の建設業界だからこそ、柔軟な発想とスピード感でBIM/CIMを活用し、業務の質を高めていきましょう!
「まずは相談したい!」という方は、お気軽にお問合せください。
一緒に、BIM/CIMの可能性を広げる第一歩を踏み出しましょう!

問い合わせ先
山口県土木建築部 技術管理課 建設DX推進班
TEL: 083-933-3640 E-mail: Y-ICT@pref.yamaguchi.lg.jp

⑦ 御幸通で学びと挑戦～3Dデータから作り出す未来～

- 周南市の御幸通周辺の点群データを取得し、それを基にして現在の御幸通を3次元で再現。
- その3次元で再現された街並みを踏まえて、学生の視点で新しい街並みの提案をするなど、地域の発展と学生のスキル向上を促進する。



⑦ 山口県土木建築部のCIMの活用

3Dプリンターを用いた住民説明
〈出来上がり全体イメージの確認〉



3D配筋検査の様子
〈鉄筋の干渉チェック〉



柳井土木建築事務所・安下庄港

#柳井建設
#北山近川
#砂防堰堤
#3dプリンター
#パワビボ
#建設業が動かすものは土だけじゃない人の心も動かせる
64週間前

インサイトを見る

投稿を宣伝



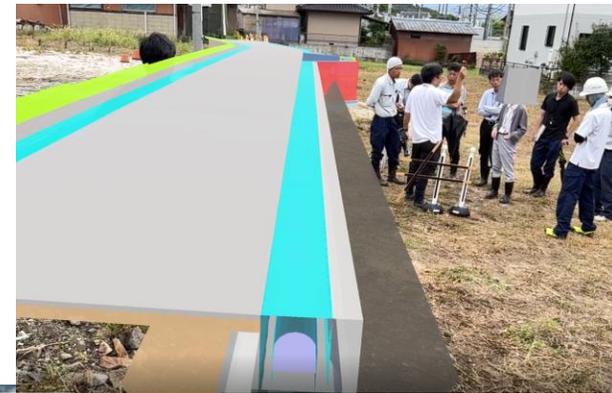
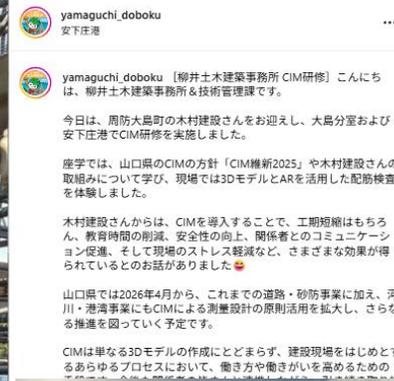
ryochin.n、他156人が「いいね！」しました
2024年9月5日

コメントを追加...

投稿する



北山近川 (山口県光市上島田 地内)
縮尺 約1:1000
山口県南土木建築事務所



ARを用いた小学生向けイベント
〈広報での活用〉



下松市役所・豊井地区道路築造ほか宅地整地工事



⑧ 書類のスリム化の軌跡



2025.11 第8回建設維新スリム化セミナー(柳井)を開催

2025.11 第7回建設維新スリム化セミナー(周南)を開催

2025.8 第6回建設維新スリム化セミナー(宇部)を開催

2025.8 第5回建設維新スリム化セミナー(山口)を開催

2025.7 「工事書類スリム化の手引き(第2.1版)」を公表

2025.4 第4回建設維新スリム化セミナー(美祢)を開催

2025.4 第3回建設維新スリム化セミナー(下松)を開催

2025.3 「工事書類スリム化の手引き(第2版)」を公表

2025.1 第2回建設維新スリム化セミナー(下松)を開催

2024.11 第1回建設維新スリム化セミナー(下関)を開催

2024.3 「工事書類スリム化の手引き」を新たに作成し、公表



⑧ 建設維新スリム化セミナー

- 建設現場の生産性向上には、ICTの活用やBIM/CIMの導入に加え、書類のスリム化や各種雑務の効率化といった現場支援の取り組みも不可欠。
- 2024年からは「とにかく現場を楽にする！」をテーマに、書類のスリム化とあわせたセミナーをスタート。
- 2025年には、さらに内容をアップデートし、書類の見直しと現場支援の両面から取り組みを強化している。

ムダな書類を作らない/作らせないを関係者の共通認識

✓ 10書類を作成不要に!
✓ 4書類を提出から提示に!

R6.4~

	従来	R6.4.1~
下請予定表	提出	不要
施工計画書(最終)	提出	不要
コリス 登録内容確認書	提示	不要
工事登録証明書(COBRIS)	提出	不要
再生資源利用(促進)実施書	提出	提示
再資源化等報告書	提出	不要
廃棄物 処理契約書・許可証・経路図	提出(再生資源利用促進計画書に添付)	不要
工事履行報告書 ※中間前払金請求工事以外	契約額3千万円以上の全ての工事で提出	発注時指定した工事のみ提出
進捗状況写真、進捗根拠資料	提出(工事履行報告書に添付)	不要
廃棄物等 運搬・搬入時の状況写真	提示	不要
指定主要資材購入実績の根拠資料	提出	提示
総合評価 評価事項履行の根拠資料	提出	提示
休日・夜間作業届	提出	不要
建設業退職金共済掛金充当実績総括表	提出	提示

詳しくは Webで検索!

🔍 山口県 書類スリム化

第8回 建設維新スリム化セミナー

「名もなき建設雑務を効率化!」

建設現場では、日々の測量、進捗管理、書類作成など、多くの「名もなき雑務」が発生しています。これらの業務を効率化させるため、まず山口県では、「とにかく現場を楽にする!」を合言葉に、公共工事における提出書類のスリム化に取り組んできたところでありますが、更なる効率化が必要です。本セミナーでは、デジタル技術を活用して建設現場の雑務を効率化するためのスキルを学びます。実際の活用事例や導入手法、最新のデジタルツールを紹介し、参加者が現場で活用できる具体的な知識を得られる内容となっています。

日時 令和7年11月7日(金) 13:20~16:30 (受付13:00~)

場所 柳井市農業担い手センター(2階 大集会室)
(柳井市南町6丁目12番4号)

定員 30名(先着順)

対象者 柳井土木建築事務所管内で建設工事を実施する建設会社の方
柳井土木建築事務所管内の県及び市町の職員

その他 本勉強会は継続学習制度(CPDS)の認定を受けています。(3ユニット)
※マイナンバーカードなど本人確認ができるものを持参してください。

スリム化の手引きをアップデート!

山口県

工事書類スリム化の手引き
[第2版]

～山口県土木工事書類作成マニュアル 改訂補足資料～

令和7年3月
山口県 土木建築部 技術管理課

合言葉は…
ラク
とにかく現場を楽にする!

NEW 施工計画書の簡素化

・ 簡易な工事かつ緊急工事では提出不要!

契約 → 施工計画書提出(不要) → 着手

施工計画書

NEW 工事写真のスリム化

・ 写真を拡大して確認できる場合は、近接写真不要!

遠景写真のみ

近接撮影不要
(近接写真の提出不要)

勉強会の内容

- 山口県の公共工事で提出書類をスリム化(総論)
- 建設現場の一連の事務作業と対応するデジタル技術
- 情報共有システム・受注者向け施工管理共有クラウド・オンライン電子納品・出来形管理クラウド・電子小黒板対応アプリ等の紹介

スリム化の手引きをアップデート!

合言葉は…
とにかく現場を楽にする!

工事書類スリム化のポイント

01 関係者の共通認識
02 必要な書類だけ!
03 経路決定の考え方

NEW 施工計画書の簡素化

NEW 工事写真のスリム化

お申込みはこちら

申し込みはMicrosoft Formsからお願いします
URL: <https://forms.office.com/r/Bvua0kxpU>
右の二次元バーコードをクリックするか読み取ることでも対応できます

⑧ スリム化のアップデート

工事書類スリム化のポイント



POINT 01 関係者の共通認識

- 全ての工事関係者※は工事書類スリム化に留意
※ 受注者、発注者、監督職員、検査職員、現場技術員
- ムダな書類を **作らない / 作らせない**
- 各自の役割分担を徹底する
- 添付資料は簡潔 & 最小限!

POINT 02 必要な書類だけ!

- 提示だけでよい書類は、**提出しない**
 - 昔は**提出**した書類でも、不要なものもある
- 最新の「土木工事書類一覧表」を確認して、必要な書類だけを**提出・提示**する

POINT 03 成績評価の考え方

- 不要な書類の作成や、書類の見栄えの良さでは、**加点评価しない**
- 検査のための新たな資料作成は一切不要 (工事概要、ダイ...

工事書類スリム化の手引き



工事書類スリム化の手引き[第2班]



工事書類スリム化の手引き[第2.1版]



NEW

工事書類スリム化の手引き[第3版]



12

工事完成図書(3/3)



NEW! 施工管理基準に定めのない管理資料は原則不要!

- 設計図書に明示がない限り、**作業土工(床掘工)等、施工管理基準に定めのない出来形管理や品質管理等は原則不要**
- ただし、施工管理基準に記載がなくても、特殊な工種や項目は受発注者で協議を行い、必要性を十分検討して決める

【例】作業土工に係る床掘工の基準高や幅の出来形管理資料は不要

山口県土木工事施工管理基準 掘削工 →作業土工は出来形を求めているので床掘工への準用は不要

編	章	節	条	項目	測定項目	規格値		
丁	北	3	2	1	掘削工	基準高▽	±50	
					掘削工	法長0	φ<5m	-200
						φ≥5m	法長-4%	

測定基準	測定箇所	概要
施工延長40mにつき1ヶ所、延長40m以下のものは1箇工箇所につき2ヶ所。ただし、「3次元測量技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の測点毎、基準高は掘削部の両端で測定。		

床掘工の出来形管理資料



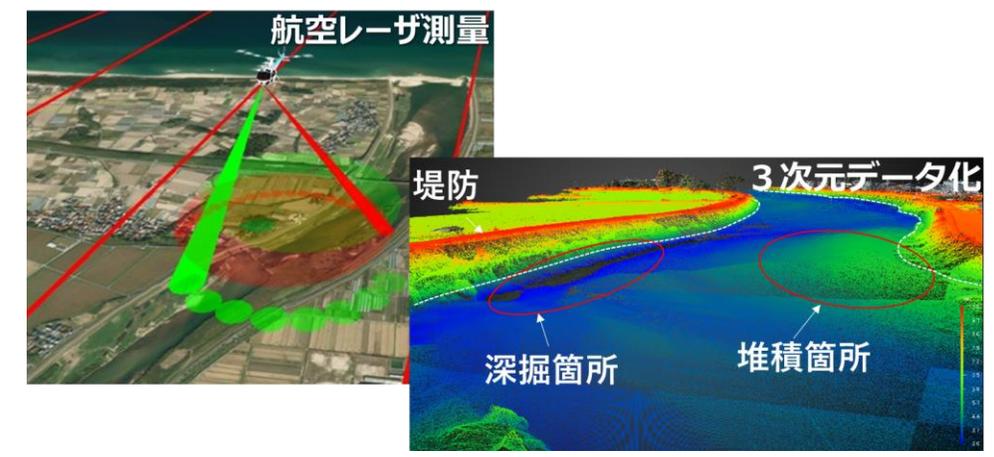
山口県が目指すのはDX(デジタルトランスフォーメーション)

- 書類の必要性そのものを見直して、提出そのものをやめる
- 出来形管理にデジタル技術を用いることで工事写真を省略する
- 書類作成のためだけに現場に行っていた工程を、デジタル技術の活用で省略する

山口県が目指しているのは、「現場負担を軽減する」といった根本的な業務の見直しです!

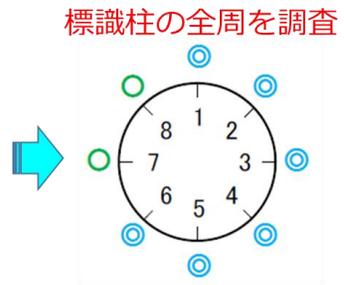
「単なる効率化」ではなく、「関係者全体の仕事の質を変える」ことを目的としています。

⑨ センシングデバイスを利用したインフラメンテナンスの軌跡



- 2024.4 山口宇部空港の滑走路の定期点検におけるMMSの試行・検証
- 2024.4 標識柱で超音波センサーを活用した点検を開始
- 2024.4 特殊橋梁で3Dスキャンや変位センサーを活用した点検を開始
- 2023.4 トンネルで走行型画像計測技術を活用した点検を開始
- 2023.4 小規模橋梁で3Dスキャンを活用した点検を開始
- 2022.4 舗装でMMSを活用した点検を開始
- 2022.4 河川の3次元点群データの取得開始
- 2021.4 河川の変状監視手法の検討開始

● 超音波センサーを活用した標識柱（埋設部）の点検



判定区分

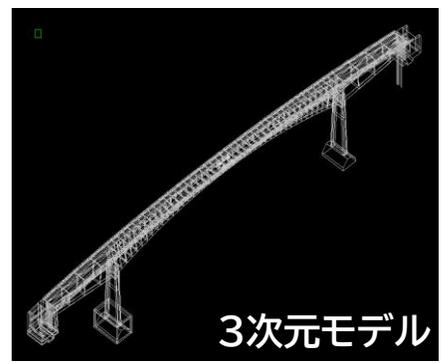
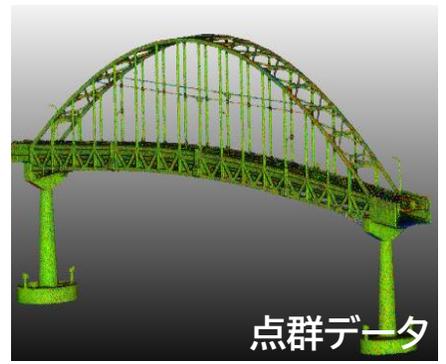
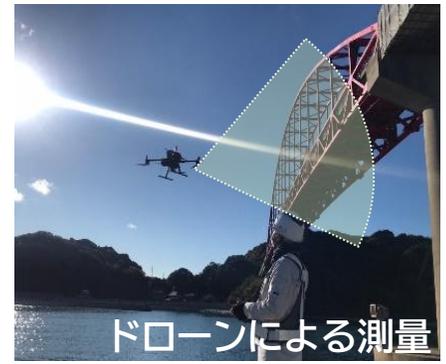
凡例	波形の強さから推定される減肉率
◎	10%未満
○	10%以上から20%未満
△	20%以上から30%未満
×	30%以上

支柱埋設部の腐食状況を掘削せずに把握

⑨ 特殊橋梁の定期観測

○橋梁で新たにデジタル技術を活用した計測を行い、橋の細密な状態を把握。
○笠戸大橋の点群データ取得の様子はYouTubeチャンネル「ばーちよるるやまぐち」で紹介。

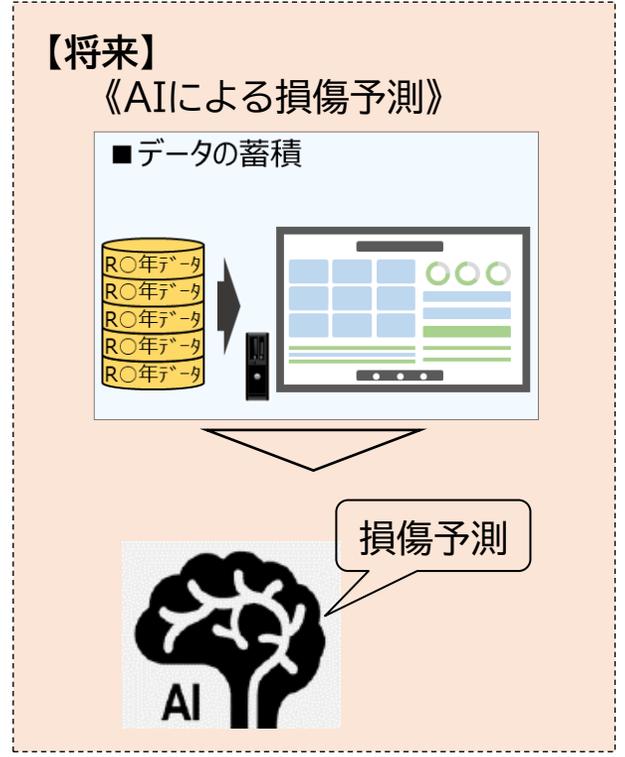
3次元測量による計測



ひずみ計・変位計による計測



損傷箇所の 早期発見・早期対応



⑨ 走行型トンネル点検車によるトンネル点検

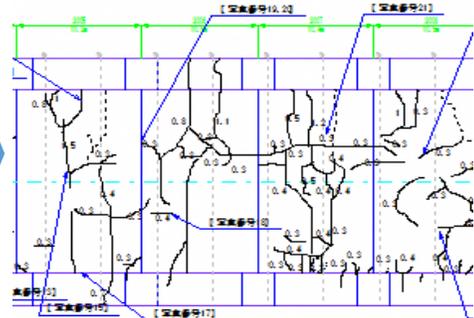
- 走行型トンネル点検車を利用してトンネルの細密な状態を把握。
- 交通規制が必要なく、ひび割れの自動抽出もできる。
- 森ヶ原トンネルの取得データの様子は山口県土木建築部公式YouTubeチャンネルで『ばーちよるるやまぐち』として紹介。

従来 技術者が近接目視により損傷箇所を把握



※技術者が直接ひびわれ幅・長さなどを計測

■技術者が損傷箇所のスケッチをもとに展開図を作成



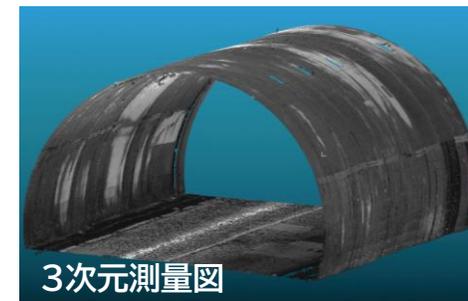
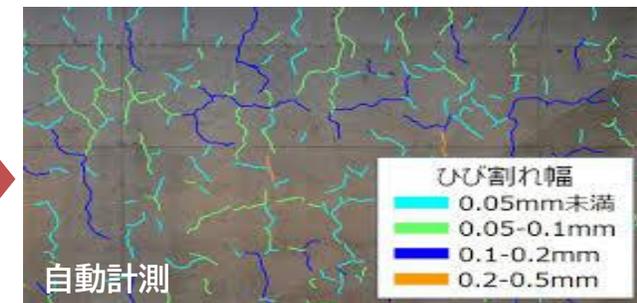
将来

■画像計測技術等の新技術を活用して損傷箇所を把握

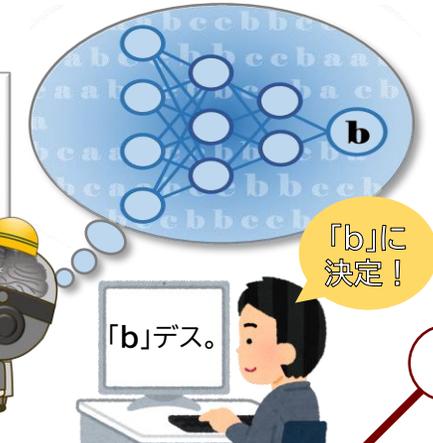
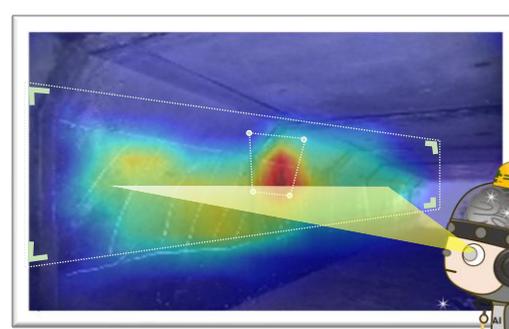


※1回の走行で画像計測や3次元測量が可能

■ひび割れ幅・長さ等の自動計測及び展開図の自動作成



⑩ AIを利用したインフラマネジメントの軌跡



- 2024.6 (一財)全日本建設技術協会令和5年度全建賞を受賞
- 2024.2 土木学会インフラメンテナンスチャレンジ賞を受賞
- 2024.1 インフラメンテナンス大賞優秀賞を受賞
- 2023.4 区画線でAIによる点検を開始
- 2023.4 小規模橋梁でAIによる診断システムを運用開始
- 2023.3 道路付属物の異状検出精度を競う「ワールドAIコンペティションYAMAGUCHI」が開催
- 2022.4 舗装でAIによる診断システムの運用開始
- 2022.4 トンネルでAIの導入検討・現場実証を実施

⑩ 三賞受賞



国土交通省等 第7回インフラメンテナンス大賞優秀賞
 土木学会 インフラメンテナンスチャレンジ賞
 (一財)全日本建設技術協会 令和5年度 全建賞



AIによる小規模橋梁等の 点検・診断支援システム

① 3Dスキャン等による損傷箇所の把握
 ・タブレットを活用し、3Dスキャン等により損傷位置や橋梁全体の状況を把握

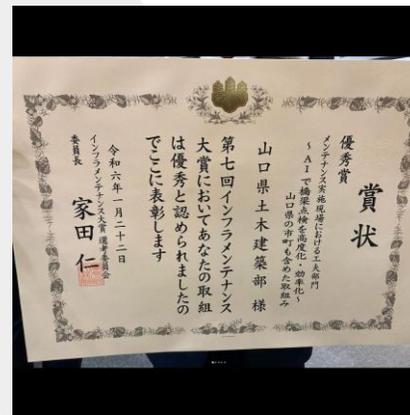
写真撮影 3Dスキャン
 損傷状況 過剰変位検出

タブレットを活用

3Dスキャン

3Dスキャンデータ

点検効率の向上



③ 調書の自動作成
 ・①と②のシステムと連携し、現場で調書を自動作成

健全度II

点検効率の向上



② AIによる健全度診断
 ・AIが写真データから画像を解析し、健全度を診断

AIによる画像解析

診断精度の向上



⑪ タブレットやアプリを用いたインフラマネジメントの軌跡



2025.4 タブレットを用いた港湾施設の点検システムの試行

2025.4 ぶちスマ点検for Coastの運用開始

2025.4 タブレットを用いた砂防関係施設の点検システムの運用開始

2024.4 ぶちスマ点検for Coastの試行

2024.4 タブレットを用いた砂防関係施設の点検システムの試行

2023.4 ぶちスマ点検for Brg.を運用開始



⑪ タブレットやアプリを用いたインフラマネジメント

○令和5年度は小規模橋梁の点検に導入
 ○令和6年度は他の施設へも展開予定 → 海岸保全施設と砂防施設の点検に導入

ぶちスマ点検 for Brg.



ぶちスマ点検 for Coast



① 3Dスキャン等による損傷箇所の把握
 ・タブレットを活用し、3Dスキャン等により損傷位置や橋梁全体の状況を把握

3Dスキャン
 3Dスキャンデータ

タブレットを活用

点検効率の向上

③ 調書の自動作成
 ・①と②のシステムと連携し、現場で調書を自動作成

健全度II

点検効率の向上

② AIによる健全度診断
 ・AIが写真データから画像を解析し、健全度を診断

AIによる画像解析

診断精度の向上

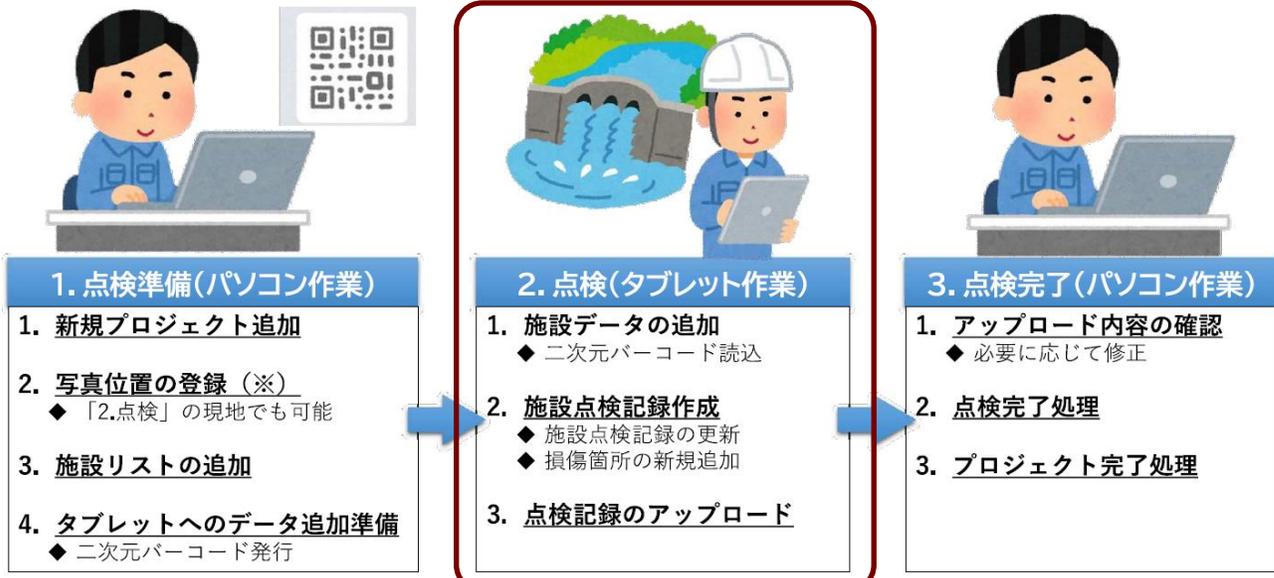
⑪ タブレットやアプリを用いたインフラマネジメント

ぶちスマ点検 for Sabo
(通称:SaboへGo!)

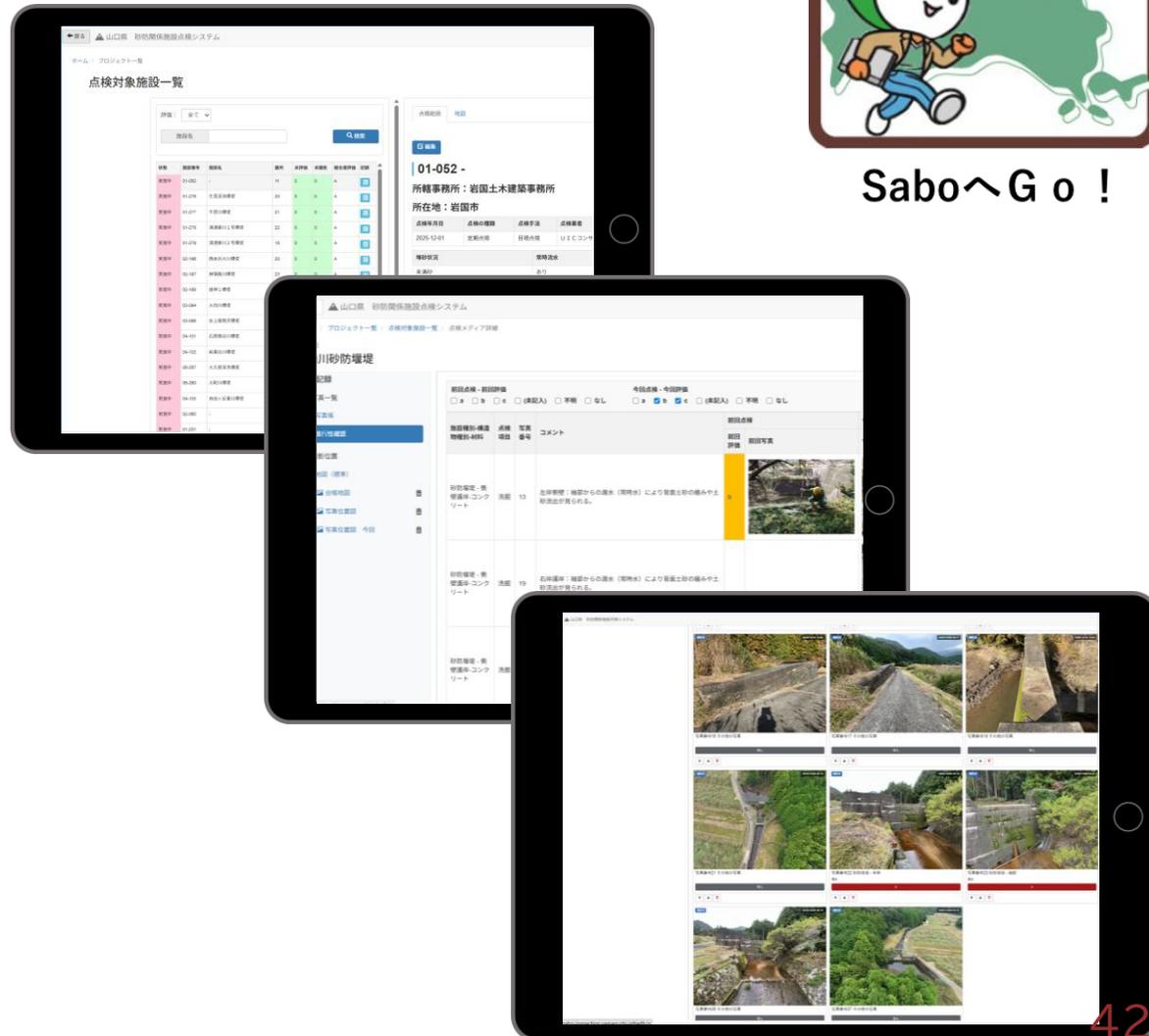


SaboへGo!

点検の流れ



※本アプリによる点検が初めての施設は、前回点検写真の位置情報が無いため、写真位置を手動で設定します。
2回目の点検以降は、前回点検までに設定した位置を用いるため、設定は不要です。



⑫ 維持管理支援システムを用いた群マネの推進の軌跡



2026.3 周南地域の道路維持管理支援システムの構築

2026.3 みんなで考えるやまぐちの群マネワークショップの開催

2026.2 やまぐちのインフラの未来を描く「群マネ勉強会」の開催

2026.1 広域連携による共同実施モデル構築事業関連 意見交換会の開催(in静岡県)

2026.1 遠隔災害支援システムの試行開始

2025.11 静岡県と遠隔災害支援及びインフラ包括管理について意見交換会の開催

2025.11 群マネ勉強会の開催(県庁職員有志)

2025.7 第2回道路維持の広域連携ミーティング

2025.4 第1回道路維持の広域連携ミーティング

2024.4 災害情報共有システム(市町版)の運用開始

2022.4 災害情報共有システム(県版)の運用

2020.4 道路維持管理支援システムの構築



⑫ 周南地域における道路維持管理支援システム

▶既存の様々な住民通報等を
一元的にデータとして集約

▶県がシステムを構築・管理し、
県・3市でシステムを共同利用

▶事務共同処理や包括委託等
に向けた検討を促進



⑬ オープンデータの軌跡

いんふらまると
マネジメント



2025.4 いんふらまるとマネジメントによる
各種インフラ情報の公開開始

2024.10 山口県オープンデータ可視化チャレンジで緊急輸送道路や津波浸水想定ダッシュボード作成

2024.4 都市計画基礎調査結果のオープンデータの公開

2024.4 洪水・高潮・津波浸水想定区域に関する情報のオープンデータ化

2023.4 「山口県緊急輸送道路ネットワーク」に関する情報のオープンデータ化

2022.11 3次元点群データをMy City Constructionで公開

2019.4 国土地盤情報データベースを活用した地盤情報の公開

2017.4 土砂災害に関する情報オープンデータ化

2007.4 コンクリート品質確保に関するオープンデータの公開

山口県オープンデータ
カタログサイト



国土地盤情報
データベース



⑬ コンクリート品質確保のデジタル活用

- 2007年のひび割れ抑制取組開始当初から、データを積極的に公開し、関係者との協働や、全国の産学官連携などの好循環を実現
- 今後は、既存のコンクリート施工記録データベースを最新のオープンデータ規則に対応するよう改善

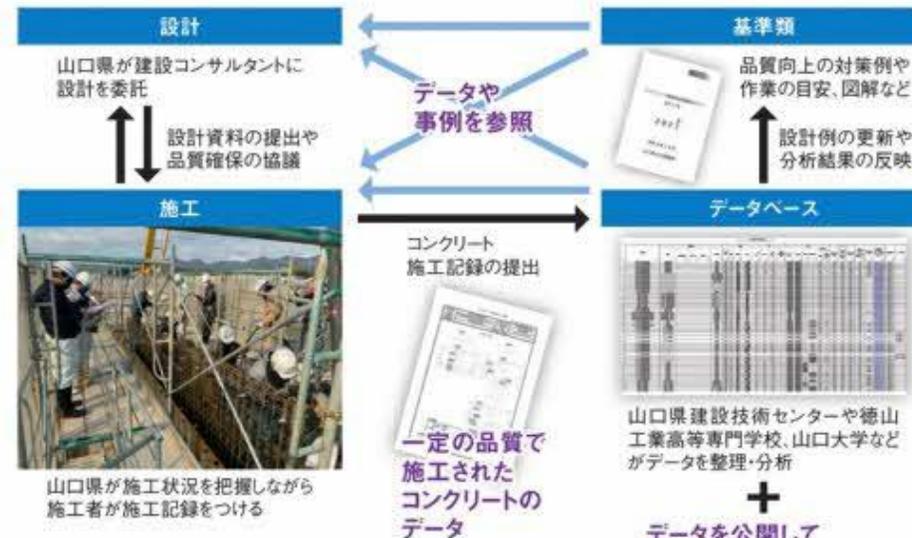
期待する効果

- ①AI等のデータ活用、維持管理段階での活用促進、データ精度向上のための環境整備
- ②現場研修との併用による職員の技術力確保(施工者等も活用)

県職員が自ら打設！
コンクリート
技術者養成講座



山口県でコンクリート構造物の品質向上システムの運用に携わる土木建築部技術管理課の吉村崇主任(当時)。施工されたコンクリート構造物を実際に見学して刺激を受ける県外の発注者もいるという(写真:日経クロステック)



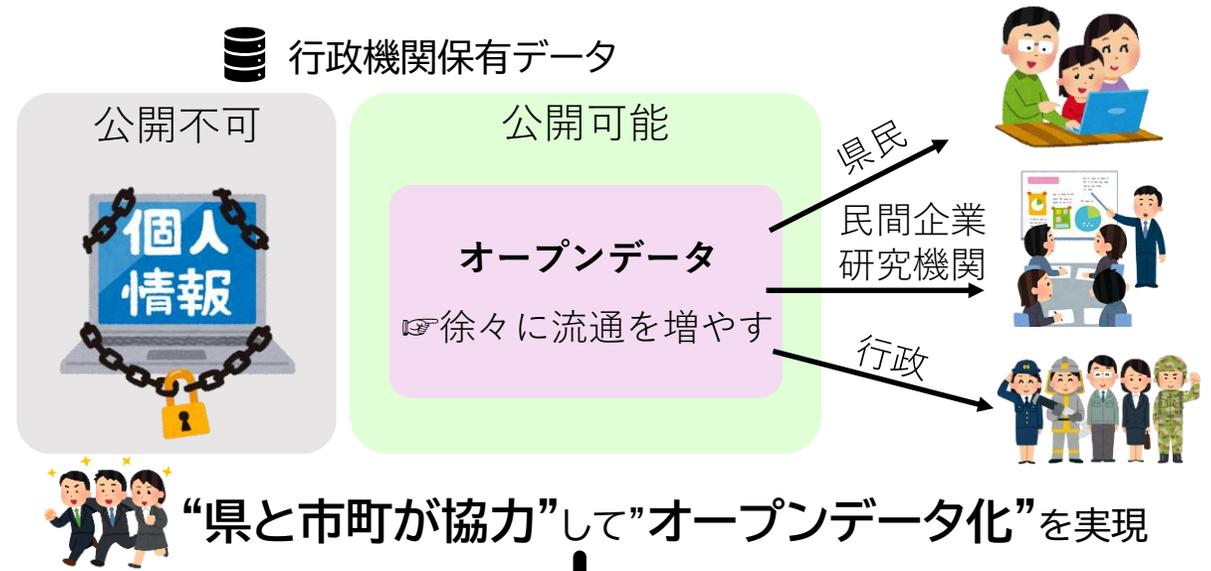
図・写真:日経クロステックより転載

⑬ 都市計画基礎調査のオープンデータ化

- 都市計画基礎調査とは、都市における人口、産業、土地利用、交通などの現況・将来の情報を定期的に把握し、“未来のまちづくり”を検討するうえで必要となる都市の基礎データを集める調査。
- 調査結果をオープンデータ化することで、誰もが新しいサービスを構築するイノベーションを促す。

都市計画基礎調査項目とその活用例

分野	調査項目	情報の活用例
人口	人口規模、将来人口等	地域特性に応じた商品・サービス開発
産業	産業・職業分類別就業者数等	工場・物流拠点の立地選定
土地利用	土地利用状況、宅地開発状況等	土地ポテンシャル可視化サービスの開発
建物	建物利用現況等	不動産DX(3D都市モデル・PLATEAUの活用)
都市施設	都市施設の位置等	インフラ維持管理DX
交通	自動車流動量、公共交通機関の状況等	観光回遊促進
地価	地価の状況	企業の店舗・事務所立地提案
自然環境等	地形・水系・地質条件等	エコツーリズム企画
災害	災害の発生状況等	防災DX(ハザード可視化・避難シミュレーション)
その他(景観等)	観光の状況等	広告・まちづくりデザイン



行政だけがもつ宝(情報) → “みんなで共有する宝(情報)”へ

調査結果は「山口県オープンデータカタログサイト」にて掲載
 ☞ダウンロードランキングTOP50に”17”の都市計画基礎調査結果がランクイン
 ※R8.1.29時点のランキング(山口県オープンデータカタログサイトに掲載されているデータ数は759)

⑭ いんふらまるごとマネジメント



現地で確認・更新
総合的な分析・検討



2014.4 海岸スマート台帳の構築

2017.4 道路台帳閲覧システムの構築

2019.4 道路施設管理システムの構築

2023.2 山口県インフラポータルサイトの構築

2024.4 港湾海岸施設点検システムの構築

2024.4 道路付属物マネジメントシステムの構築

2024.4 建築確認台帳の電子文書化

2024.4 橋梁マネジメントシステムの構築

2025.3 いんふらまるごとマネジメントの運用開始

2025.4 河川情報管理システムの構築

2025.4 港湾施設点検データ管理システムの構築

2026.2 いんふらまるごとマネジメントの機能追加



搭載されたデータは、2次利用可能なデータでダウンロード可能
(施設情報: csvファイル 道路台帳附図: sfcファイル 点群データ: lasファイル 等)

⑭ いんふらまるごとマネジメント

- 山口県土木建築部が保有するインフラデータを公開する専用サイトを構築し、2025年3月に公開。
- 様々なインフラやハザード等のデータが無料で閲覧・利用でき、地域開発、防災対策など、様々なシーンで役に立ててもらおう。



山口県 いんふらまるごとマネジメント Ver. imm-001

公共土木情報の新基盤で地域の未来を拓く。

公共データの力、あなたの手に

いんふらまるごとマネジメントとは 山口県土木建築部が保有するオープンデータを公開するための専用サイトです。オープンデータの横断的な検索、ダウンロードが可能で、ダウンロードしたデータは二次利用することができます。

山口県土木建築部が保有するオープンデータを公開するサイトをOPENしました!!

山口県の公共土木施設等に関するオープンデータカタログサイトがオープンしました。様々な公共施設やハザード等のデータが無料で閲覧・利用できます。防災対策、地域開発、ビジネス活用など、様々な用途でお役立てください。

オープンデータを使って何ができるの？

山口県土木建築部が保有するオープンデータは、私たちの生活を支える道路や橋などの公共土木施設に関する情報です。これを活用することで、様々なサービスやビジネス展開が可能になります。

例えば...

災害リスクの低減と防災対策の強化

オープンデータを活用して、特定の地域における洪水や土石流のリスクを分析できます。ハザードマップをもとに、過去の災害データや地形情報を合わせて評価し、自分たちの住む地域のリスクを理解することが可能になります。この情報をもとに、避難経路や避難所を事前に確認し避難計画を築く等、防災対策を強化することが可能です。

公開しているオープンデータの一部をご紹介します

橋梁	橋断歩道橋	ダム	地すべり防止施設	量水標
トンネル	門限標識等	水門・閘門	道路台帳	洪水高潮・津波

公共土木施設等に関するオープンデータの可能性は多岐に渡ります。行政、民間企業、県民が一体となって利活用を進めることで、より安全・安心で便利な社会の実現に貢献することができます。今後もさらなるデータ追加や機能拡充を予定しています。

山口県 いんふらまるごとマネジメント <https://infradb.pref.yamaguchi.lg.jp>

主な提供サービスの内容

■地図ビューア

道路、河川、ダム、砂防、洪水・高潮等の情報などを地図上で重ね合わせて可視化できます。3次元データの一部閲覧・取得できます。



いんふらまるごとマネジメント



■データカタログ

組織、キーワード、データの種類など、様々な条件を組み合わせることで、欲しいデータを効率的にダウンロードすることができます。

ふらまる動画



⑮ 建設発生土マッチングシステムの軌跡



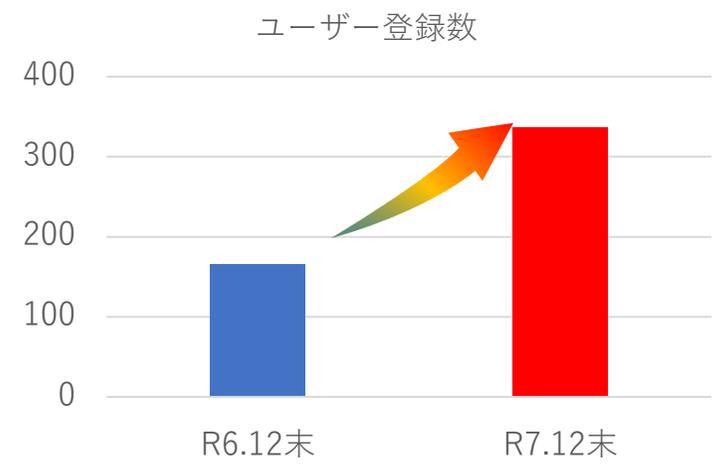
2022.4 建設発生土の取扱いを改正(流用・仮置きに関する検討方針を明確化)

2023.9 建設発生土マッチングシステム試行運用開始

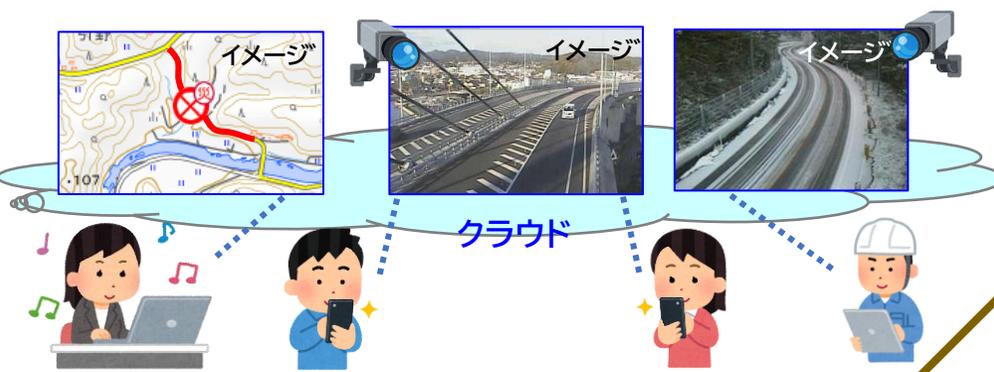
2024.4 建設発生土マッチングシステムの運用開始



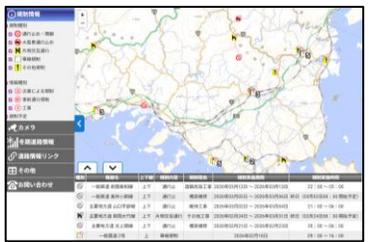
ユーザー登録拡大中



①⑥ 山口県道路情報道路見えるナビの軌跡



規制情報



迂回路情報



道路カメラ情報



2025.3 道路見えるナビのリニューアル (規制区間・迂回路表示、カメラ増設)

2024.2 道路見えるナビの画面レイアウト変更(画面サイズに合わせてサイトの表示を自動調整機能)

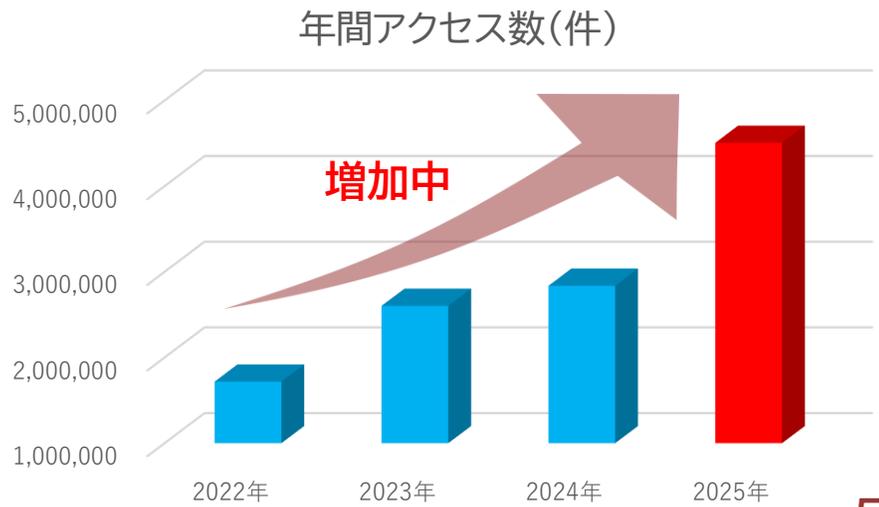
2018.2 その他(他機関)管理カメラ追加

2017.5 道路見えるナビの地図変更

- 2011.9 道路見えるナビの機能追加
- ・お知らせ情報提供機能の追加
 - ・規制情報の情報種別(工事・災害・事前)の追加
 - ・規制情報のアイコン表示選択用チェックボックスの追加
 - ・規制予定(灰色アイコン表示)の追加

2008.4 道路見えるナビの運用開始

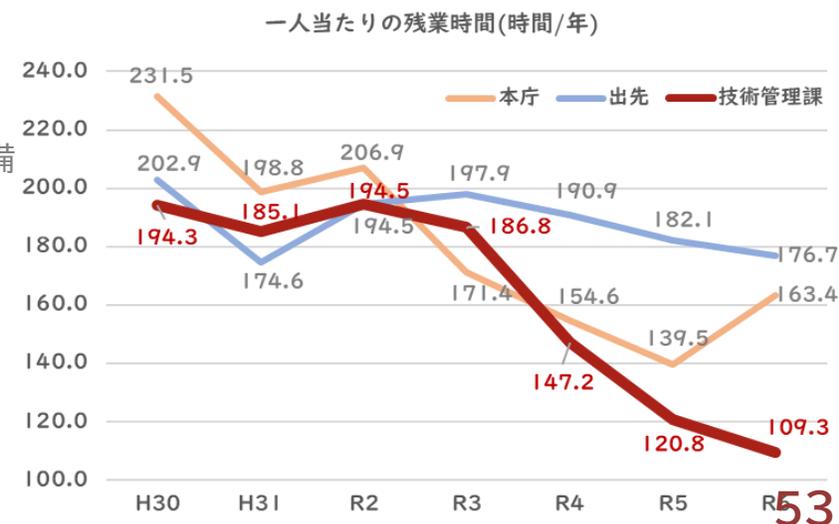
山口県道路情報
道路見えるナビ



⑰ 働き方改革の軌跡



- 2025.4 設計図書の電子決裁の本格導入
- 2024.7 設計図書の電子決裁の試行開始
- 2024.6 所属を横断して議論する場(ちょこクロ会議)の開始
- 2024.1 やまぐちワークスタイルシフトの開始
- 2023.12 技術管理課の職場環境のアップデートを実施
- 2023.4 職員一人ひとりの意識改革を促す5つの柱の提示
- 2022.12 技術管理課の働きがいのある先駆的な取組を開始
- 2022.4 Microsoft Teamsの原則活用
- 2021.4 モバイルPC、在宅勤務、公用携帯、電子決裁システム、サテライトオフィスの整備
- 2022.2 本庁版の「デジタル化推進取組事例集」を作成・共有
- 2021.12 出先事務所の所長・次長が中心となって「デジタル化推進取組事例集」を作成・共有
- 2021.2 遠隔臨場等に必要なタブレット、Wi-Fi環境の整備



⑰ 働きがいのある技術管理課のための先駆的な取組み(2022.12~)

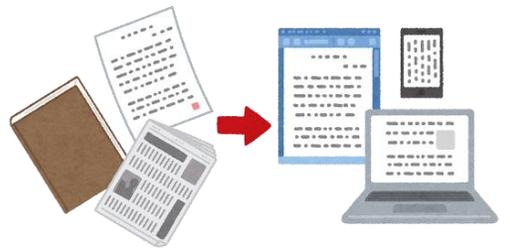
■取組のきっかけ

- 技術管理課は部内のDXを牽引していく部署
- 土木建築関係の入職者の減や離職者の増への対応は待ったなし

■目標

- 課内の業務形態を見直し・整理して実践し、今以上に「働きがい」のある職場を目指す！
- モデル職場として取組み、横展開し、部内の職場環境を改善していく！

先駆的な取組の これまで・現在地・その先



**R4.12~
先駆的な取組ver1**
Teamsの積極的な活用
デジタル化による業務形態の見直し
業務情報の見える化
何でも相談窓口の設置 など

**R5.3~
先駆的な取組ver2**
課内職員アンケートの実施
取組の検証・方向性の周知
Ver1を深化し本格実施

**R5.12~
先駆的な取組ver3**
業務の徹底的な見直し・効率化
多様な働き方の実践
執務環境のアップデートvol1
<窓際席廃止、グループアドレス導入>
ハラスメントの撲滅 など
Ver2を深化

**R7.1~
先駆的な取組ver4**
ペーパーレスの更なる推進
<執務室の配置変更(vol2),
課保有のHDDの整理・運用方法,
リフレッシュデーの導入 など>
業務のルール化の考え方
通知文の効率的な発出の仕方
個々の業務の効率化・負担軽減 など
ver3を深化

未定
先駆的な取組
の総仕上げ

働きがい
のある
技術管理課



⑰ 職員一人ひとりの意識改革を促す5つの柱(2023.4～)



5つの柱は
トップダウン
で推進しています

働きがい
のある
土木建築部



5つの柱1.0

- ① Teamsの活用
- ② 業務情報の見える化
- ③ サテライトオフィス・遠隔臨場の活用
- ④ 業務の効率化の推進
- ⑤ 風通しの良い職場づくり

5つの柱2.0

- ① 5つの柱に取り組む趣旨の理解促進
- ② 所属を横断して議論する場の設置
- ③ 業務をより効率化させるためのデジタルの活用方法の検討
- ④ 取組に必要な環境整備
- ⑤ デジタルに必要なリスキリング

5つの柱3.0

- ① 5つの柱に取り組む趣旨の理解促進
- ② 所属を横断して議論する場の設置
- ③ 業務をより効率化させるためのデジタルの活用方法の検討
- ④ 働きがいのある職場づくりへの取組み
- ⑤ ペーパーレスの推進

5つの柱EX

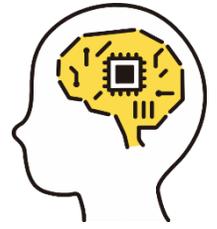
- ① 未来志向の意識改革への挑戦
- ② 組織や役職の壁を超えた共創への挑戦
- ③ デジタルの力で働き方や県民サービスを進化させる挑戦
- ④ 誰もが輝き働きがいのある職場づくりへの挑戦
- ⑤ 土木建築行政に携わる職員の価値を高める挑戦[未来に希望を!]

17 やまぐちワークスタイルシフト(2024.1~)

○人口減少やデジタル技術の進展などにより社会が大きく変化する中、多種多様な行政ニーズに的確に対応し、新たな行政サービスの創出に繋げるため、また、その前提として、職員自身が仕事にやりがいを持ち、充実した生活を送ることができるよう、新たな働き方改革「やまぐちワークスタイルシフト」に取り組みます。



ペーパーレス化・データ化の推進による情報共有の効率化



生成AI等のデジタル技術の活用による業務の効率化・高度化



研修等による職員のデジタルスキルの向上



場所にとらわれない多様な働き方の実現

- ✓ 業務効率化・高度化による県民サービスの向上
- ✓ 民間企業・団体等へも働き方改革の取組の波及

⑱ SNSを使った戦略的広報の軌跡



2017.10 facebookの運用開始

2021.10 Instagramの運用開始

2022.4 YouTubeの運用開始

2023.8 Instagramのフォロワーが1,000人を突破

2023.11 土木の日SNSチャレンジ2023に参加

2024.6 SNS講習会の開催

2024.5 Instagramのフォロワーが2,000人を突破

2024.11 土木の日SNSチャレンジ2024に参加

2025.8 YouTube動画「山口県発注工事でICT法面工をしてみました」が初の10,000回再生超え

2025.9 Instagramのフォロワーが3,000人を突破

2025.11 土木の日SNSチャレンジ2025に参加

2026.2 Instagramのフォロワーが4,000人を突破

YouTube

【公式】山口県土木建築部

Facebook

Instagram

yamaguchi_doboku



土木の日SNSチャレンジ2025



18 SNSを使った戦略的広報

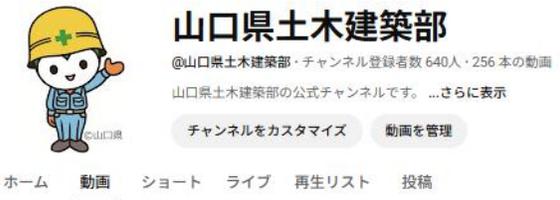
○県民が山口県の建設産業の魅力や取組みに興味を持ち、理解や信頼の向上や担い手確保につなげるため、2017年からFacebook、2021年からInstagram、2022年からYouTubeの運用を開始。
○2026年2月にInstagramのフォロワーが4,000人を超えた。



yamaguchi_doboku ◯
山口県庁 土木建築部【公式】建設業/DX/インフラ
投稿1029件 フォロワー4059人 フォロワー中2935人
公共・行政サービス
土木建築部が運用する公式アカウント
山口県の建設業を知るならココ！
県内の建設イベントの最新情報発信
建設産業の魅力を発信するサイトはこちら
🌐 yamaguchi-kensetsu-portal.comと他1人
📧 yamaguchi_doboku



Instagram
yamaguchi_doboku
QRコード



山口県土木建築部
@山口県土木建築部・チャンネル登録者数 640人・256本の動画
山口県土木建築部の公式チャンネルです。...さらに表示
チャンネルをカスタマイズ 動画を管理
ホーム 動画 ショート ライブ 再生リスト 投稿



YouTube
【公式】山口県土木建築部
QRコード

プロフィールを編集 アーカイブを表示

- イベント情報
- 土木の日2025
- 建設DX
- 書類スリム化?
- 働き方改革せ...
- いんふらまる...
- クイズ!



- 中高生や大学生をはじめ、多くの方に山口県の建設産業の魅力を知ってほしい (0:16)
- YAMAGUCHI KENSETSU FES! やまぐち建設フェス! 2025 (0:16)
- ④③次元測量管理等の施工管理 (19:23)
- 【魅力発信】1分半で施工方法がわかる。 (1:38)

やま建Navi webCM2025 19万回視聴・1年前
やまぐち建設フェス! 2025 是非ご参加ください! 67万回視聴・5か月前
【建設推新ICT】山口県発注工事でICT法面工をやってみました 17万回視聴・2年前
【魅力発信】1分半で施工方法がわかる。 6737回視聴・3年前



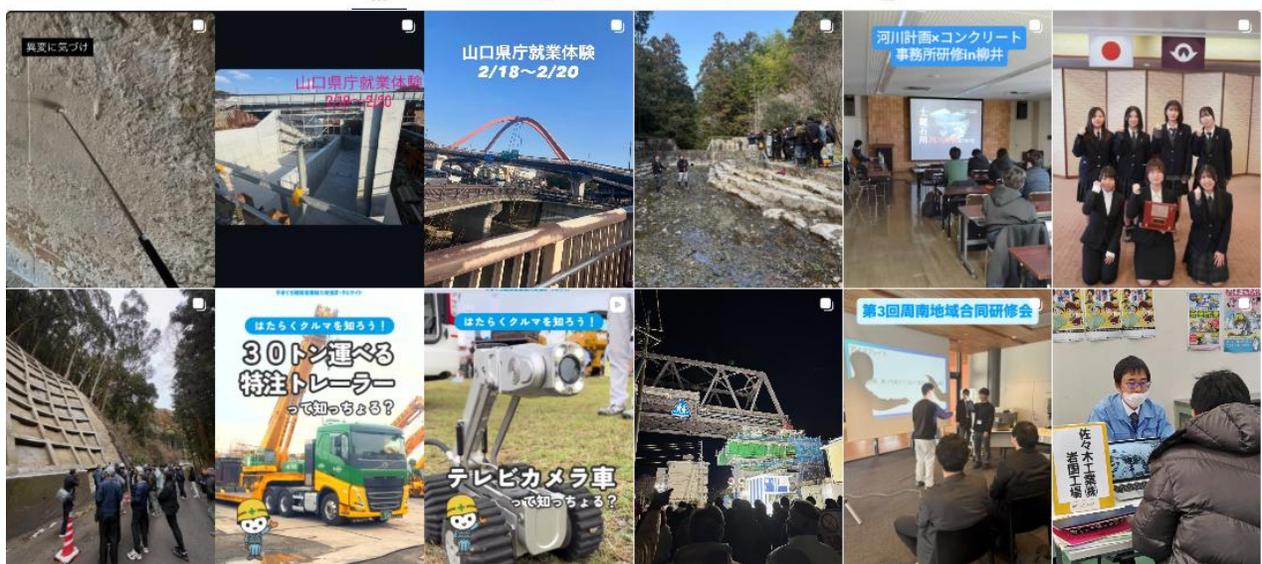
- 【官学共同研究】魚道ができるまで [タイムラプス・解説動画] (1:40)
- 【官学共同研究】雲雀山トンネル工事 [タイムラプス・解説] (2:48)
- 【建設推新ICT】モバイル端末計測技術を使ってみました (7:44)
- 【魅力発信】「発破」 (0:22)

【官学共同研究】魚道ができるまで [タイムラプス・解説動画] 5323回視聴・3年前
【官学共同研究】雲雀山トンネル工事 [タイムラプス・解説] 3443回視聴・3年前
【建設推新ICT】モバイル端末計測技術を使ってみました 2763回視聴・3年前
【魅力発信】「発破」 1782回視聴・3年前



- 【建設推新ICT】AR技術とVR技術を使ってみました (9:20)
- DXで変わる建設現場～株式会社木村建設の取組～ (8:15)
- 山口県建設DX推進計画 (3:47)
- 建設ディレクター 導入企業インタビュー (34:08)

【建設推新ICT】AR技術とVR技術を使ってみました
DXで変わる建設現場～株式会社木村建設の取組～
山口県建設DX推進計画 1376回視聴・2年前
建設ディレクター 導入企業インタビュー 1314回視聴・11か月前



19 建設キャリアアップシステムの軌跡



2025.12 活用工事実施要領の運用開始

2024.4 土木事業の工事において成績評定の加点対象

2024.4 試行対象の拡大

2023.11 建設キャリアアップシステムの説明会を開始

2023.4 モデル工事の試行

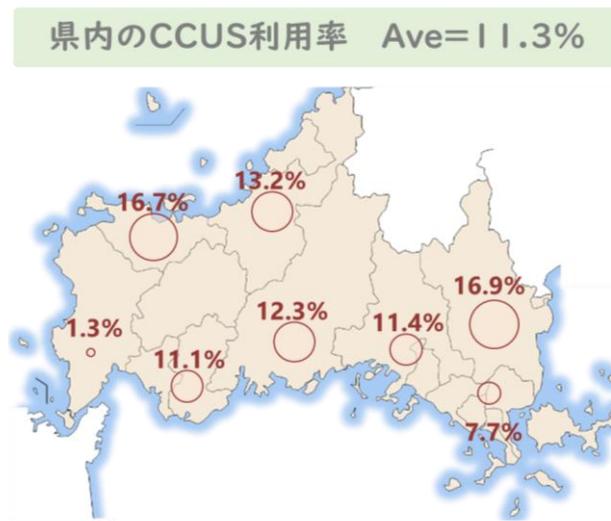
2021.4 企業ニーズの把握・国や他県の動向調査



【ゴールドカード（表面）】



【一般のカード（表面）】



CCUS利用実施率=実施件数/発注件数 Ave: 11.3%



【裏面】

②⑩ フラNaviの軌跡

建設産業魅力発信ポータルサイト



産・企業の広報
・リクルート活動の一環
・現場の士気向上

官・人材育成
・公共事業への理解促進
・職員の士気向上

学・学生と教員の自己研鑽
・現場の雰囲気を理解
・課外活動としての評価



2026.4 フラNaviを公開

2026.2 YouTube動画「学生×建設企業マッチングサイトにせまる！」を公開

2025.12 第6回インフラマネジメントテクノロジーコンテストでグランプリを受賞

2025.12 第4回高専GIRLS SDGs×Technology Contestで優秀賞・ANAグループ賞・ファイナリスト賞を受賞

2025.6 令和7年度版国土交通白書に掲載

2025.4 フラNavi試行版を公開

2024.7 やまぐち建設21の会とフラNaviを通じたこれからの建設産業に係る意見交換をしました

2024.3 YouTube動画「学生が建設業を変える!?現場見学マッチングサイト「フラNavi」」を公開

2023.12 第4回インフラマネジメントテクノロジーコンテストでチャレンジ賞を受賞

2023.7 徳山高専との官学共同研究を締結

2022.12 徳山高専が第3回インフラマネジメントテクノロジーコンテストで地域賞を受賞

② イベントの情報発信はフラNaviを活用！

■背景・課題



学校で学んだことが
実際の現場で活かせるのかな？

就職した後に
働いているイメージがつかない

もっと気軽に企業の人に
質問したりできないかな？

学生が県内企業の魅力ややりがい
十分に把握できていない

若手人材の県外流出



■解決案

- ・現場見学の機会を多くして、学生が実際の現場に触れる機会を増やす
- ・学生と企業が現場見学を通じてコミュニケーションが取れるような環境づくり

令和7年度国土交通白書 に掲載されました



フラNaviロードムービーを公開

第1弾(2024.3)



第2弾(2026.2)



建設系会社

- ・現場見学の企画
- ・参加学生とのコミュニケーション



いつでも、どこでも、何處でも



現場見学に関する情報を集約・発信
見せたい側と見たい側のマッチング



学生

- ・現場見学の参加登録
- ・主催側とのコミュニケーション

役所

- ・現場見学の管理
- ・現場見学の企画

フラNavi 検索



設計・試作

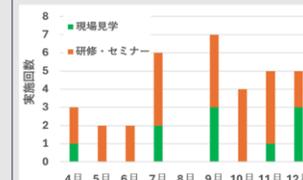
- 1年目(2023)
基本構想の設計
フラNavi β版の試作
企業・行政対象アンケート

制作・実装

- 2年目(2024)
開発コストの検討
実装版の制作
開発資金の確保

試用・改善

- 3年目(2025)
「使用性」・「継続性」に
焦点を当てた具体的な改善



本格運用

2026年4月

⑳ 徳山高専がフラNaviで各種快挙を達成

12月14日(日)に東京大学伊藤謝恩ホールで開催された「第4回高専 GIRLS SDGs×Technology Contest(高専GCON2025)」において、齊藤遥奈さん(専攻科2年)、鶴田こゆきさん(4年)、石津雅さん、飯田ひかりさん、佐古柑菜さん(3年)のチーム「ひかみこちゃんねる」が37高専89チームの中で優秀賞(第2位)、企業賞(ANAグループ賞)、ファイナリスト賞を受賞しました。

第6回全国高等専門学校インフラマネジメントテクノロジーコンテスト2025において、齊藤遥奈さん(専攻科2年)、兼坂亜季さん(5年)、鶴田こゆきさん(4年)、石津雅さん、飯田ひかりさん、佐古柑菜さん、弘中蓮さん、住出若菜さん(3年)の提案「いつでも、どこでも、何度でも。～はばたけフラNavi～」が全19高専34作品の中からグランプリ(最優秀賞)に選出されました。



いつでも、どこでも、何度でも。～はばたけフラNavi～

また来ちゃった会けんせつ小町～そして伝説へ～
徳山工業高等専門学校
環境建設工学専攻: ○齊藤遥奈
土木建築工学科: 5年: 兼坂亜季 4年: 鶴田こゆき
3年: 飯田ひかり 石津雅 佐古柑菜 住出若菜 弘中蓮

フラNaviとは?

- 建設業界と学生が現場見学・研修でつなぐマッチングサイト
- 山口県庁×徳山高専×建設企業が連携

主な機能

1. 現場見学/研修の登録 (主催者向け)
2. 検索機能 (参加者向け)
3. エントリー参加記録管理
4. 資料共有・質問回答

今後の展望

- 利用者拡大へ
 - 現場見学、コンテストの(ポスター/キヤッチコピー)の募集機能
 - 企業ロゴ
 - 企業のアピールタグ
 - マイキャラクター育成

ポイント!

1. 地域に特化した現場見学情報サイトは他に類をみない取り組み!
2. "現場"から地域の建設業を元気にし、人に関する好循環を形成!
3. フラNaviのほぼ100%が現場見学の経験豊富な学生たちのアイデア!

課題と実践

1. フラNaviの試験運用とUI等の機能改善
2. 効果的かつ無理のない運営方法と水平展開の検討
→運営母体は?ランニングコストは?起業?
3. フラNaviのPR&利用者を増加させる機能の充実

得られる効果

1. 地域の建設産業の若年人口比率や女性比率の増加
2. 主催者および現場で働く方のモチベーションが向上
→現場の整理整頓、安全管理、労務管理などの意識も向上
3. 建設業界の「今」を発信して若者や女性の建設業に対する不安を軽減
4. ｲﾝﾌﾗﾏﾝｸﾞ 高専生の起業の可能性



(参考) やまぐち建設FES!

やまぐち建設フェス! 2025

- 来場者4,300人超!
- ペーパークラフト体験やAR迷路体験を出展



やまぐち富士商ドーム



平瀬ダム



2025.10 やまぐち建設21の会と意見交換

笠戸大橋



2025.9 第3回やまぐち建設FES!

山口県土木建築部ブースの出展(ペーパークラフト, AR迷路)

ガントリークレーン



2024.10 第2回やまぐち建設FES!

山口県土木建築部ブースの出展(ペーパークラフト, ドローン運転)

栄川運河橋



2023.10 第1回やまぐち建設FES!

2023.2 やまぐち建設21の会と意見交換



今後の社会情勢の変化や技術開発の進展等を踏まえ、本計画において取組を追加するなどアップデートし、「**県民のより安心・安全で豊かな生活**」の実現に向けて積極的にチャレンジします。

CONTACT

担当: 山口県 土木建築部 技術管理課 建設DX推進班

TEL: 083-933-3640

Mail: a18000@pref.yamaguchi.lg.jp